

平成25年度

小金井市教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書



平成24年度評価分

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条においては、教育委員会自らが、毎年、教育委員会における活動状況の点検及び評価を実施することが義務付けられています。また、点検及び評価に当たっては、有識者からの意見聴取、報告書の作成、議会への提出、公表を行うこととされています。

小金井市教育委員会は、教育目標及び基本方針を実現するための「明日の小金井教育プラン」に基づき推進する教育施策に係る主な事業、69事業について「点検及び評価シート」を作成し、有識者からの貴重な御意見を組み入れて評価し、本年度の報告書を作成しました。

なお、今年度も、昨年までの有識者の御意見を受け、シートの変更、評価の方法について改善をしています。次年度以降についても、継続して充実を図ってまいります。

小金井市教育委員会

目 次

小金井市教育委員会の教育目標	1
小金井市教育委員会の基本方針	2
教育目標・基本方針・明日の小金井教育プランの関連	3
明日の小金井教育プラン概要	4
平成24年度 小金井市教育委員会・事業一覧	5
学校教育 点検・評価の概要	13
生涯学習 点検・評価の概要	14
点検及び評価シート 学校教育編	15
点検及び評価シート 生涯学習編	46
平成25年度点検・評価に関する有識者の意見	79
平成24年度教育委員会運営状況	82
平成24年度教育委員会委員研修状況	88
平成24年度規則等の制定、改廃状況	89
平成24年度教育委員会の人事発令状況	90
平成24年度小金井市市立小・中学校学校行事・連合行事等日程表	91
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	92
小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検 及び評価の実施に関する要綱	93

小金井市教育委員会の教育目標

小金井市教育委員会は、子供たちが幅広い知識と教養を身に付けるとともに、道徳心にあふれ、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の生命と人格を尊重し、礼儀正しく思いやりのある人
- 社会のルールを身に付け、社会貢献に努める人
- 自ら学び考え続ける、個性と創造力豊かな人

の育成に向けた教育を推進する。

また、すべての市民が生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合い、互いに高め合うことを目指していく。

そして、家庭、学校及び地域のそれぞれが役割と責任を果たしながら、相互の連携と協力による教育を推進する。

(平成20年1月24日 小金井市教育委員会決定)

小金井市教育委員会の基本方針

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」を実現するための「明日の小金井教育プラン」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】

すべての子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

【基本方針2 「個性」と「創造力」の伸長】

国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子供たち一人一人の豊かな人間性を育成することが求められる。

そのために、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

【基本方針3 「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立】

子供たちに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、思考力・判断力・表現力等を育成することが求められる。

そのために、教員の授業力向上を図るとともに、保護者や地域に信頼される魅力ある学校づくりを目指した学校経営を支援する。

【基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興】

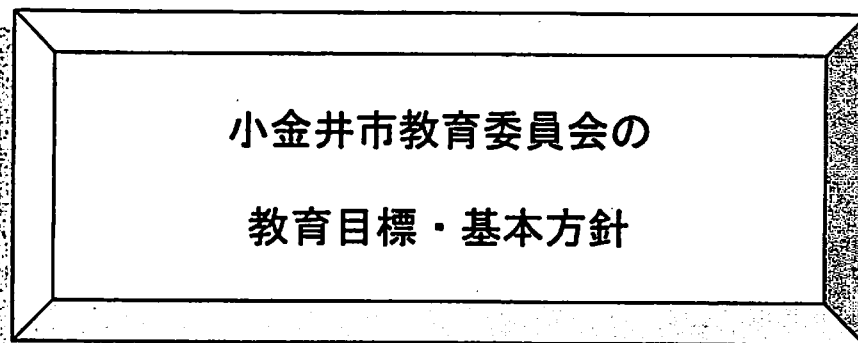
市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようにするとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

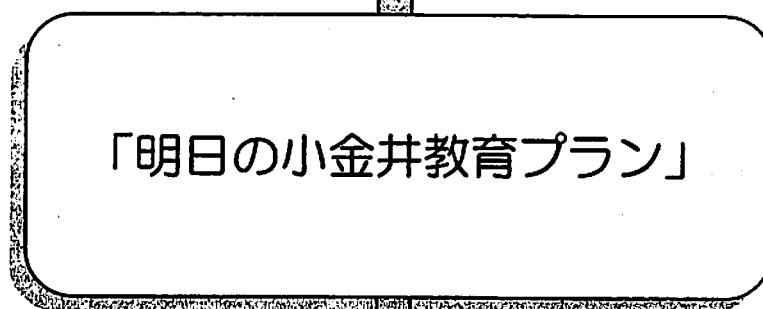
(平成24年2月14日 小金井市教育委員会決定)

教育目標・基本方針・明日の小金井教育プランの関連

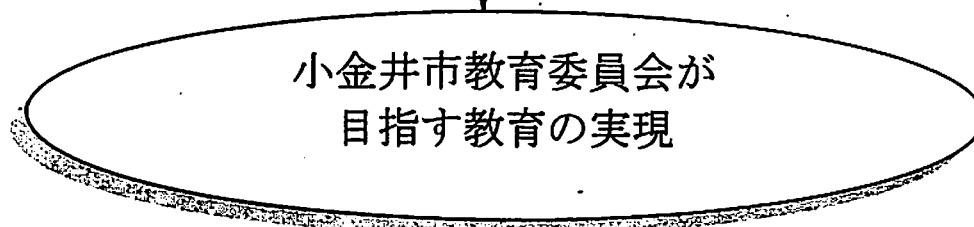
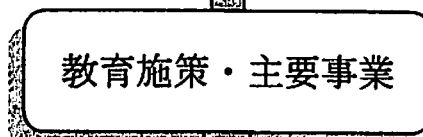
○理念的な原理・原則



○学校教育に関する中期的な計画



○当該年度の短期的な計画 (毎年度策定)



小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」に基づき、「明日の小金井教育プラン」を策定しています。

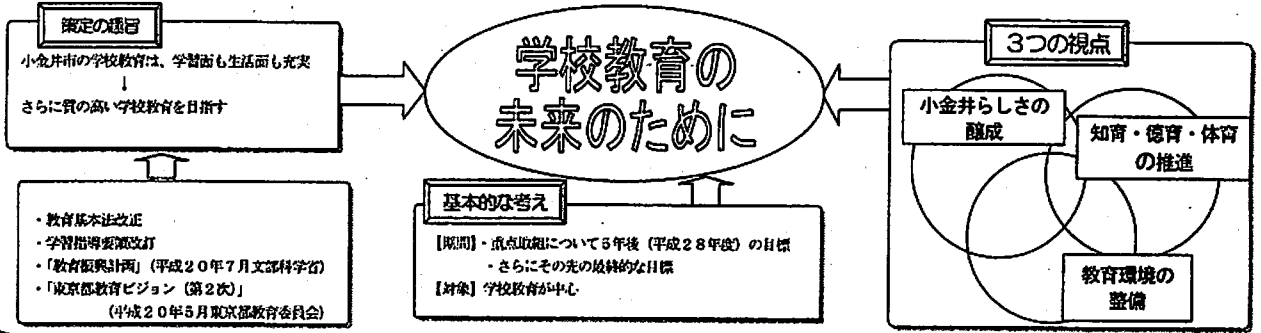
学校教育に関する中期的な計画である「明日の小金井教育プラン」に基づき、当該年度に実施する「教育施策」及び「主要事業」を明確化することができます。

これらの「教育施策」及び「主要事業」等を推進していくことで、小金井市教育委員会が目指す教育を実現していきます。

明日の小金井教育プラン概要

平成23年3月 小金井市教育委員会

明日の小金井教育プラン



施策の展開

優先順位 A～C

- A 最優先施策 (24年度までに試行～実施)
- B 優先施策 (26年度までに試行～実施)
- C 順次対応 (到達目標を見据えて)

→ 到達目標

1 小金井らしさの醸成 【重点施策10】

- (1) **特色ある教育**
 - ①【特色ある教育活動発表会の実施】: A
→ 特色ある教育活動発表会の実施
- (2) **人権教育**
 - ①【男女平等教育の推進】: A
→ 人権教育の指導計画・内容・方法の改善・充実
 - ②【子どもの権利に関する条例の学校への周知】: A
→ リーフレットの周知
- (3) **社会貢献活動**
 - ①【ボランティアカードの活用】: B → 小・中学生及び市民へ配布
 - ②【ボランティア活動の表彰と紹介】: B
→ ボランティア活動発表会の実施
- (4) **伝統・文化理解教育**
 - ①【「小金井市歴史散歩」の配布】: B → 各学校に配布
 - ②【「小金井郷土かるた」の普及】: B → かるた大会開催
- (5) **体験活動**
 - ①【三宅島との交流】: C → 子供体験ツアー開催
- (6) **家庭教育**
 - ①【家庭学習のすすめ作成】: B → 小・中学生の家庭に配布
 - ②【保護者向け資料の作成】: B
→ 小・中学生の学校や家庭生活での課題解決のヒント集の作成・配布

2 知育・徳育・体育の推進 【重点施策19】

- (7) **わかる・できる・活かす授業**
 - ①【授業力向上研修会】: B → 優れた指導力をもつ教員の表彰・活用
 - ②【授業公開等の充実】: A → 全教員が年1回研究授業実施
 - ③【子供の学習に関する実態把握】: A → 市で統一様式を作成し、実施
 - ④【体験活動の充実】: A → 体験活動の充実
 - ⑤【補習授業等の充実】: A → 補習授業等の全校実施
- (8) **読書活動と学校図書館**
 - ①【「小金井市学校読書活動推進月間」の設定】: B
→ 読書活動推進月間の実施
 - ②【学校図書館補助員の配置と読書活動の充実】: C
→ 学校図書館補助員を1日5時間週5日配置
- (9) **情報教育**
 - ①【情報モラルの向上】: A → 研修会・公開授業の実施
 - ②【情報活用能力向上のための研修会の実施】: A → 研修会の実施
- (10) **科学教育**
 - ①【近隣大学等の連携】: B → 出前講座、科学講座の実施
 - ②【理科支援員の配置】: A → 理科支援員の配置の充実
- (11) **道徳教育**
 - ①【家庭や地域と連携した道徳教育の推進】: A → 道徳授業の充実
 - ②【道徳別読本の配布】: B → 毎年、小・中学校へ配布
- (12) **体力の向上**
 - ①【一校一運動の推進】: A → 各学校における体育的活動の実施
 - ②【体力調査の実施】: B
→ 全学校全学年での体力調査の実施及び結果分析の委託
 - ③【食育の推進】: C → 食生活に関するリーフレットの作成・配付
- (13) **特別支援教育**
 - ①【特別支援教室の確保】: B → 各校に特別支援教室を設置
 - ②【特別支援学級の増設】: A → 固定(小3校、中2校) 遊級(小3校、中1校)
 - ③【特別支援学習指導員の配置】: A → 各校1人ずつ配置

3 教育環境の整備 【重点施策9】

- (14) **新しい学校評価**
 - ①【学校評価の推進】: C → 全小・中学校で、第三者評価の実施
- (15) **情報環境**
 - ①【情報教育アドバイザー派遣の充実】: C
→ 全小・中学校へ情報教育アドバイザーを1週間に1日派遣
 - ②【コンピュータ管理業務者派遣の充実】: A
→ 全小・中学校に週1日派遣
 - ③【教育用コンテンツ管理システムの構築】: C
→ 情報センターを設置し学校・教育委員会を結ぶネットワークの実施
- (16) **教育相談・適応指導**
 - ①【スクールカウンセラー派遣の充実】: C
→ 全小・中学校に週5日配置
 - ②【スクールソーシャルワーカーの派遣】: A
→ スクールソーシャルワーカーの全校配置
- (17) **学校施設**
 - ①【特別支援学級の空調設備の整備】: A
→ 梅の実学級、さくら学級の各教室に設置
 - ②【校庭の芝生化の推進】: A → 校庭の芝生化の全校実施
 - ③【太陽光発電や風力発電の推進】: A → 全小・中学校に設置

平成24年度 小金井市教育委員会・事業一覧

教育プラン3つの視点	教育プラン17の取組	平成24年度教育施策	事務事業（教育プラン重点施策含む）
1 小金井らしさの醸成	(1)特色ある教育	<p>①校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、家庭、学校、地域が連携・協力した特色ある教育活動を推進する。</p> <p>②豊かな感性を磨き、健全な心を育てるために、連合音楽会や連合作品展などを開催し、情操教育を推進する。</p> <p>③学校等における安全管理を徹底し、災害時の被害を最小限にするため、災害発生時の避難経路や緊急時の対応の確認などの安全点検を実施するとともに、児童・生徒等への防災教育と教職員の意識向上を図る。</p> <p>④毎月の安全指導日やセーフティ教室の取組を充実させ、特に児童・生徒の危機回避能力を高め、犯罪被害の未然防止を図る教育を充実させる。</p> <p>⑤保護者や地域住民との一層の連携を図り、登下校時の見守りや、スクールガードの取組を推進し、通学路や学区内での児童・生徒の安全確保に努める。</p> <p>⑥就学前教育から小学校教育へ円滑な接続を行うために、幼稚園や保育所と小学校が相互にそれぞれの特性等について正しく理解し合い、連携を強化していく。</p> <p>⑦教職員に自己の職責の重大さを自覚させ、職責遂行のため服務の厳正を図る。</p>	<p>特色ある教育活動発表会の実施【重点施策】①②…指導室</p> <p>児童・生徒表彰①…指導室</p> <p>中学校生徒会交流会①…指導室</p> <p>教育フォーラム①…指導室</p> <p>小学校オーケストラ音楽鑑賞教室②…指導室</p> <p>中学校合唱鑑賞教室②…指導室</p> <p>小学校連合音楽会②…指導室</p> <p>小・中学校連合作品展②…指導室</p> <p>スクールガード養成講習会④…学務課</p> <p>学校管理下における事故見舞金④…学務課</p> <p>学校事故に係る損害賠償金④…学務課</p> <p>教室等空気環境衛生検査④…学務課</p> <p>日本スポーツ振興センター共済④…学務課</p> <p>交通災害共済掛金負担金④…学務課</p> <p>小学校通学路警備等④…学務課</p> <p>スクールバス運行④…学務課</p> <p>セーフティ教室④…指導室</p> <p>幼稚園協会補助金⑤…学務課</p> <p>就学相談⑤…学務課</p> <p>健全育成推進協議会⑤…指導室</p> <p>子ども支援ネットワーク会議⑤…指導室</p> <p>服務研修⑦…指導室</p>
	(2)人権教育	<p>①教育活動全体を通じ、人権尊重の理念の定着を図るために人権教育を一層推進し、偏見と差別のない好ましい人間関係を確立する。</p> <p>②子供、女性、高齢者、障害者、同和問題、外国人、その他の人権問題などの様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進する。</p> <p>③小金井市子どもの権利に関する条例リーフレット、人権教育プログラム、等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。</p> <p>④いじめや暴力行為等、児童・生徒の多様な問題の解決に向け、早期発見・早期対応ができる学校内の体制づくり、未然防止や保護者・関係機関との連携等の取組を充実する。</p> <p>⑤小金井市男女平等基本条例に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を児童・生徒に理解させ、その具現化を図るため、適正な男女平等教育を推進する。</p>	<p>人権尊重教育推進校①…指導室</p> <p>人権教育推進委員会①②③④⑤…指導室</p> <p>人権教育推進資料作成①②③④⑤…指導室</p> <p>男女平等教育の推進【重点施策】②⑤…指導室</p> <p>子どもの権利に関する条例の学校への周知【重点施策】③…指導室</p>

教育プラン3つの視点	教育プラン17の取組	平成24年度教育施策	事務事業（教育プラン重点施策含む）
1 小金井らしさの醸成	(3)社会貢献活動	<p>①社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教師の適切な指導のもと、自然体験学習等の体験活動や社会体験活動、ボランティア活動など社会貢献の活動の充実に努める。</p> <p>②児童・生徒一人一人が人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境を大切にすること、環境問題や環境保全に主体的にかかわることができる能力や態度を育成する。</p>	<p>ボランティアカードの活用【重点施策】①…生涯学習課・指導室</p> <p>ボランティア活動の表彰と紹介【重点施策】①…指導室</p> <p>ボランティアカード作成①…指導室</p> <p>光熱水費削減還元プログラム②…学務課</p> <p>環境教育推進委員会②…指導室</p> <p>環境教育研修会②…指導室</p> <p>アクション月間CO2削減②…指導室</p>
	(4)伝統・文化理解教育	<p>①国際社会の中で活躍し、わが国の発展に貢献できる人材を育成するために、小・中学校に外国人英語指導助手を派遣するなど、コミュニケーション能力を育む教育を推進する。</p> <p>②日本や世界の文化・伝統に触れる機会の充実を図り、郷土小金井に対する愛着や誇りを育て、多様な文化に対する理解を深め、国際的視野を広める教育を推進する。</p>	<p>小学校外国人英語指導助手派遣①②…指導室</p> <p>小学校外国語活動推進委員会①②…指導室</p> <p>中学校外国人英語指導助手派遣①②…指導室</p> <p>中学校ALT運営委員会①②…指導室</p> <p>「小金井市の歴史散歩」の配布【重点施策】②…生涯学習課・指導室</p> <p>「こがねい郷土かるた」の普及【重点施策】②…生涯学習課・指導室</p>
	(5)体験活動	<p>①キャリア教育の視点に立ち、職場体験学習や農業体験学習、その他の勤労体験学習を拡充し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実を図る。</p>	<p>三宅島との交流【重点施策】①…指導室</p> <p>移動教室①…指導室</p> <p>林間学校①…指導室</p> <p>中学校職場体験①…指導室</p>
	(6)家庭教育	<p>①中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、学校生活や家庭生活における課題を明らかにし、その解決方法について示す。</p>	<p>家庭教育のすすめの作成【重点施策】①…指導室</p> <p>保護者向け資料の作成【重点施策】①…指導室・生涯学習課</p> <p>中学生保護者向け資料「ハートコンタクト」作成①…指導室</p>

教育プラン3つの視点	教育プラン17の取組	平成24年度教育施策	事務事業（教育プラン重点施策含む）
2 知育・徳育・体育の推進	(7)わかる・できる・活かす授業	<p>①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実を図る。</p> <p>②学生ボランティア等を活用し、授業の指導補助、放課後や夏季休業日等の補充学習を実施するなど、確かな学力の充実を図る。</p> <p>③「わかる・できる・活かす」授業を展開するために、年間授業計画の充実、授業改善推進プランの作成・活用、児童・生徒による授業評価の実施、校内研修の充実等を推進する。</p> <p>④「わかる・できる・活かす」授業改善研究指定校を定め、授業力向上に関する先進的な研究を行い、その成果を市全体に広める。</p> <p>⑤教職員の職務の専門性や実践的指導力、幅広い識見を一層高め、授業力をより一層向上させるために、教職経験に応じた研究・研修の充実を図る。</p> <p>⑥学習指導要領に基づいた年間指導計画の適正な作成と実施の徹底及び評価の充実を図る。</p>	<p>授業力向上研修会【重点施策】①…指導室 授業公開等の充実【重点施策】①…指導室 子供の学習に関する実態把握【重点施策】①…指導室 体験活動の充実【重点施策】①…指導室 補習授業の充実【重点施策】①…指導室 社会科副読本作成①…指導室 日本語指導員派遣①…指導室 水泳指導介助員配置①…指導室 少人数指導教員配置①…指導室 学生ボランティア派遣②…指導室 授業改善推進プラン作成①③…指導室 学力に関わる調査の考察①③⑤…指導室 わかる・できる・活かす授業改善研究推進校③④⑤…指導室 校長会等補助金、負担金⑤…学務課 教材開発研修会⑤…指導室 少人数指導授業改善推進委員会⑤…指導室 水泳指導研修会⑤…指導室 研究奨励校⑤…指導室 研究奨励グループ⑤…指導室 市教育研究会への助成⑤…指導室 研究紀要作成⑤…指導室 教職員の研修・職歴研修・必修研修・選択課題別研修⑤…指導室 校長会等補助金、負担金⑤…学務課</p>
	(8)読書活動と学校図書館	<p>①「小金井市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館補助員を派遣するとともに、目的をもった読書活動を推進し、読書習慣を身に付けさせ、自ら進んで学習する意欲と態度を養う。</p>	<p>学校図書館図書システム導入①…学務課 「小金井市学校読書活動推進月間」の設定【重点施策】①…指導室 学校図書館補助員の配置と読書活動の充実【重点施策】①…指導室 学校読書活動推進委員会①…指導室 学校図書館補助員派遣①…指導室 読書感想文コンクール①…指導室</p>
	(9)情報教育	<p>①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。</p>	<p>情報モラルの向上【重点施策】①…指導室 情報活用能力向上のための研修会の実施【重点施策】①…指導室</p>
	(10)科学教育	<p>①地域の大学や研究機関等との連携を図り、小学校理科支援員を派遣するなどして観察・実験補助に活用するなど理科・科学教育を推進する。</p>	<p>近隣大学等との連携【重点施策】①…指導室 理科支援員の配置【重点施策】①…指導室 理科支援員派遣①…指導室 大学との共同研究(コンソーシアム)①…指導室</p>

教育プラン3つの視点	教育プラン17の取組	平成24年度教育施策	事務事業（教育プラン重点施策含む）
2 知育・徳育・体育の推進	01 道徳教育	<p>①児童・生徒が、自他をいつくしみ、命や自然を大切にするなど、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。</p> <p>②学校の全教育活動において道徳教育を充実させ、児童・生徒一人一人が、道徳心や公共心を育み、礼儀正しく生活するための支援を行う。</p> <p>③家庭や地域と連携した道徳教育の推進や道徳授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井において共に生きる子供を育成する。</p>	<p>道徳教育推進委員会①②…指導室 道徳副読本①②…指導室 道徳副読本の配布【重点施策】①②③…指導室 道徳授業地区公開講座①②③…指導室 家庭や地域と連携した道徳教育の推進【重点施策】③…指導室</p>
	02 体力の向上	<p>①児童・生徒が積極的に運動やスポーツに親しみ、心身共に健やかな成長を遂げることができるよう一校一取組運動や小金井市小中学生マラソン大会を推進するなど、体力の向上に努める。</p> <p>②健全な食生活に向けた食育を推進し、生命の大切さや心身の健康についての正しい認識をもつことができるように指導の充実を図る。</p> <p>③関係機関と連携した保健教育を推進し、健康で安全な生活を送る能力や態度の育成を図る。</p> <p>④性にかかわる指導を進めるに当たっては、児童・生徒の発達段階を踏まえ、適切な理解や好ましい人間関係などについての指導の充実を図る。</p>	<p>食器改善、学校給食関係備品整備①…学務課 一校一運動の推進【重点施策】①…指導室 体力調査の実施【重点施策】①…指導室 体力向上推進委員会①…指導室 部活動運営委員会①…指導室 部活動外部指導員配置①…指導室 小金井市小中学生マラソン大会①…指導室 スポーツ教育推進校①…指導室 食育の推進【重点施策】②…学務課・指導室 学校医等委嘱②…学務課 定期健康診断②…学務課 就学時健康診断②…学務課 結核対策委員会②…学務課 害虫駆除②…学務課 学校保健関係備品整備②…学務課</p>
	03 特別支援教育	<p>①学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒が個々の教育ニーズに応じた指導を受けられるように各学校のコーディネーターの育成や校内委員会の実施を支援するとともに、巡回相談や巡回指導などを通して、特別支援教育の充実を図る。</p> <p>②特別支援教育支援員を配置し、学校における日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童生徒への支援をさらに充実させる。</p> <p>③障害のある人との相互理解を深め、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶための交流教育の充実や副籍制度に基づいた交流及び共同学習の推進に努める。</p> <p>④特別な支援を必要とする子供のライフステージに応じた効果的な支援を実現するために、福祉、医療、労働、教育等の連携のもと、小金井市特別支援ネットワーク協議会をもとに特別支援教育の体制づくりを推進する。</p>	<p>特別支援教室の確保【重点施策】①…庶務課・学務課・指導室 特別支援学級の増設【重点施策】①…庶務課・学務課・指導室 特別支援学級設置校長会①…指導室 特別支援学級推進委員会①…指導室 特別支援教育研修会①…指導室 特別支援専門・巡回相談①…指導室 特別支援教育支援員の配置【重点施策】②…指導室 特別支援学級介助員配置②③…指導室 特別支援学習指導員配置②③…指導室 特別支援教育支援員派遣②③…指導室 特別支援教育講演会（市民対象）④…指導室</p>

教育プラン3つの視点	教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策	事務事業（教育プラン重点施策含む）
3 教育環境の整備	(14)新しい学校評価	<p>①小金井市公立学校運営連絡会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、開かれた学校づくりを一層推進する。</p> <p>②学校評価を適切に行い、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効率的で透明性の高い学校運営を推進する。</p>	<p>学校運営連絡会①…指導室 学校評価の推進【重点施策】①②…指導室 学校関係者評価①②…指導室 中学校評価評定研修会②…指導室 学校訪問・定期訪問・要請訪問・随時訪問①…指導室</p>
	(15)情報環境	<p>①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。</p>	<p>情報教育アドバイザー派遣の充実【重点課題】①…指導室 コンピュータ管理業務者派遣の充実【重点施策】①…指導室 教育用コンテンツ管理システムの構築【重点施策】①…庶務課・学務課・指導室・図書館 ICT活用教育推進委員会①…指導室 コンピュータ教育研修会①…指導室 コンピュータ管理業務者派遣①…指導室 ICT支援員の派遣①…指導室</p>
	(16)教育相談・適応指導	<p>①不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの派遣など学校の相談機能を充実させ、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒、保護者等に対する相談体制の充実を図る。</p> <p>②スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを活用して、児童虐待や家庭の状況に起因する問題行動等の未然防止及び解決を図る。</p>	<p>スクールカウンセラー派遣の充実【重点施策】①…指導室 教育相談推進委員会①…指導室 教育相談研修会①…指導室 教育相談ネットワーク会議①…指導室 スクールソーシャルワーカーの派遣【重点施策】①②…指導室 スクールソーシャルワーカー派遣①②…指導室 スクールソーシャルワーカー協議会①②…指導室 スクールカウンセラー派遣②…指導室 スクールカウンセラー連絡会②…指導室 教育相談所①…指導室 もくせい教室（適応指導教室）①…指導室</p>
	(17)学校施設	<p>①学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器などの教材・教具、図書などを充実させるとともに有効活用に努める。</p> <p>②ゆとりと潤いのある教育環境づくりのため、校庭等の緑化などに努める。</p>	<p>小学校施設整備①…庶務課 中学校施設整備①…庶務課 教育振興備品整備①…学務課 学校図書の充実①…学務課 学校施設（ガラス、プール、トイレ受水槽など）の点検、清掃、検査等事業①…学務課 特別支援学級の冷暖房設備の整備【重点施策】①…学務課 校庭の芝生化の推進【重点施策】②…庶務課 太陽光発電や風力発電の推進【重点施策】②…庶務課</p>

小金井市教育委員会の基本方針	平成24年度教育施策	事務事業	
<p>基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興 市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようにするとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。 そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。</p>	<p>(1)生涯学習の推進</p>	<p>①市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう、生涯学習施策を推進する。 ②学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。 ③地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。 ④退職前後の中老年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。 ⑤市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。</p>	<p>社会教育委員の会議運営①・・・生涯学習課 成人の日記念行事①・・・生涯学習課 心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業①・・・生涯学習課 まなびあい出前講座①・・・生涯学習課 こがねい市民講師登録制度①・・・生涯学習課 社会教育関係団体補助事業①・・・生涯学習課 市立小中学校PTA連合会補助事業①・・・生涯学習課 小金井市スカウト協議会運営費補助事業①・・・生涯学習課 全国大会等参加団体補助事業①・・・生涯学習課 青少年のための科学の祭典②・・・生涯学習課 中近東歴史文化講座③・・・生涯学習課 ボランティアセミナー③・・・生涯学習課 団塊の世代のための地域参加講座④・・・生涯学習課</p>
	<p>(2)青少年教育の推進</p>	<p>①家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。 ②子供たちの安全安心な居場所づくりとしての「放課後子ども教室」事業を学校、家庭地域と一体となって実施する取組の充実を図る。 ③清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育んでいくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。</p>	<p>家庭教育学級①・・・生涯学習課 思春期子育て講座①・・・生涯学習課 放課後子ども教室②・・・生涯学習課 少年自然の家維持管理事業③・・・生涯学習課 自然体験教室③・・・生涯学習課 天体教室③・・・生涯学習課 親と子のふれあい教室・体験イベント③・・・生涯学習課 バスツアー③・・・生涯学習課</p>
	<p>(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進</p>	<p>①幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。 ②誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。 ③スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。 ④楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。 ⑤平成25年に予定されているスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）に向けて、リハーサル大会を実施し、準備を促進させる。</p>	<p>市民体育祭①・・・生涯学習課 スポーツ教室・各種大会①・・・生涯学習課 体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業②③④・・・生涯学習課 スポーツ推進委員事業③・・・生涯学習課 スポーツ祭東京2013開催準備事業⑤・・・国体推進担当</p>

小金井市教育委員会の基本方針	平成24年度教育施策	事務事業
<p>基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興</p>	<p>(4)文化財の保存と啓発活動の推進</p> <p>①貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。</p> <p>②市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編の刊行に向け、編さん活動の充実を図る。</p> <p>③市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。</p> <p>④史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。</p>	<p>文化財保護審議会運営①…生涯学習課 文化財の管理公開①…生涯学習課 埋蔵文化財の保護事務①…生涯学習課 文化財センター維持管理事業①…生涯学習課 市史編さん委員会運営②…生涯学習課 市史編さん活動②…生涯学習課 古文書調査②…生涯学習課 多摩郷土誌フェア参加②…生涯学習課 文化財講演会③…生涯学習課 古文書講座③…生涯学習課 名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト④…生涯学習課</p>
	<p>(5)公民館の充実</p> <p>①誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。</p> <p>②公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。</p> <p>③事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。</p> <p>④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。</p> <p>⑤市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。</p> <p>⑥広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。</p>	<p>音楽鑑賞のつどい①…公民館 市民映画会①…公民館 利用団体のつどい①③…公民館 国際交流イベント①③④…公民館 青年国際交流講座(生活日本語教室)①③④…公民館 異世代交流講座(にほんごで国際交流)①③④…公民館 ITサポート事業①③④⑤…公民館 公民館運営審議会運営事業②…公民館 企画実行委員会運営事業②…公民館 公民館研究大会運営事業②…公民館 三者合同研修会運営事業②…公民館 障害者青年学級③④…公民館 成人大学講座③④…公民館 成人学校講座(菜園教室など)③④…公民館 まちづくり講座③④…公民館 市民がつくる自主講座③④…公民館 子どもの人権講座④…公民館 子どもの体験講座④…公民館 男女共同参画講座④…公民館 高齢者学級④…公民館 市民講座④…公民館 陶芸入門教室④…公民館 地域コミュニティ施設研究講座(多摩・島しょ)④…公民館 高齢者の生きがいづくり講座(多摩・島しょ)④…公民館 団塊の世代地域デビュー講座(多摩・島しょ)④…公民館 16ミリ発声映写機操作講習会⑤…公民館 機材等の貸し出し業務⑤…公民館 月刊「こうみんかん」の発行⑥…公民館</p>

小金井市教育委員会の基本方針	平成24年度教育施策		事務事業
基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興	(6)図書館の充実	<p>①「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が利用できる図書館運営に努める。</p> <p>②時代に即した図書館運営を推進するため、平成元年12月に策定(平成4年3月一部改正)された「小金井市立図書館運営方針」を改訂する。</p> <p>③平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センター図書館貫井北分室開設に向けて、本格的準備に着手する。</p> <p>④子供の読書活動推進のため、引き続き読書環境の整備に努め、新たに「子どもと読書に関する講座」を開催し、市民の子供の読書に関する活動の育成・支援に努める。</p>	<p>図書館窓口(含レファレンスサービス)業務①…図書館 図書館協議会運営事務①②…図書館 図書配本・回収業務①④…図書館 移動図書館車運行事業①…図書館 ハンディキャップサービス事業①…図書館 図書館維持管理事業①…図書館 小金井市立図書館運営方針(改訂版)作成②…図書館 (仮称)貫井北町地域センター図書館貫井北分室開設事業③…図書館 図書館児童サービス事業④…図書館 地域文庫補助金交付④…図書館</p>
	(7)社会教育施設の整備	<p>①市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。</p> <p>②市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。</p> <p>③公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。</p> <p>④平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センターについて、平成23年度の実施設計に引き続き、今年度は建設工事に着手する。</p> <p>⑤安全・安心な施設管理のため、図書館本館の耐震診断を実施する。</p> <p>⑥震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。</p>	<p>総合体育館維持管理②…生涯学習課 栗山公園健康運動センター維持管理②…生涯学習課 上水公園運動施設維持管理②…生涯学習課 テニスコート維持管理②…生涯学習課 校庭開放③…生涯学習課 スポーツ開放・学校開放③…生涯学習課 図書館維持管理事業③…図書館 公民館維持管理事業①…公民館 (仮称)貫井北町地域センター建設事業①④…公民館</p>

学校教育 点検・評価の概要

学校教育部では、小金井市教育委員会の基本方針及び明日の小金井教育プランに基づき、平成24年度教育施策を推進する中で様々な事業を展開した。学校教育については、平成23年度から実施した明日の小金井教育プランの重点施策である38事業について、点検・評価を行った。

平成24年度については、重点施策のほとんどの事業に対して、評価A「概ね達成している」と評価した。

前年度と比べて「三宅島との交流」、「授業公開等の充実」、「情報モラルの向上」、「特別支援教育支援員の配置」、「コンピュータ管理業務者派遣の充実」及び「教育用コンテンツ管理システムの構築」については評価Bから評価Aとなった。

情報モラルの向上については、外部講師により教職員、児童及び生徒に情報モラルの研修を実施することができた。

特別支援教育支援員の配置については、昨年度より2人多い4人の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援の必要な児童及び生徒の支援をすることができた。

教育用コンテンツ管理システムの構築については、校務用パソコンで指導要録や通知表を作成するなど、業務の効率化が図られた。また、学校図書館システムを導入したことにより、学校図書館運営の効率化と正確化を実現することができた。

太陽光発電や風力発電の推進については、平成24年度の目標として市立学校1校に太陽光発電等の設備を設置することとしていたところ、設置することができなかつたため評価をCとした。

今後は、それぞれの事業について、担当課が中心となり学校、関係部局、関係諸機関と連携し、明らかになった課題の解決を図っていくこととする。

生涯学習 点検・評価の概要

生涯学習部では、小金井市教育委員会の教育目標及び第2次小金井市生涯学習推進計画の基本理念「共に教え合い、学び合い、共に育つ、生涯学習のまちづくり」の実現に向けて、小金井市教育委員会の基本方針及び平成24年度教育施策の基本方針4「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興に基づき各種事業を展開した。生涯学習部では、7項目の施策から31事業について点検・評価を実施した。

基本方針4 施策(1)生涯学習の推進では、5事業を点検・評価の対象とし選定した。青少年のための科学の祭典については、来場者数が目標を上回り、昨年に引き続きA評価とした。また、団塊の世代のための地域参加講座についても、講座参加者数が目標を越え、A評価とした。

施策(2)青少年教育の推進では、3事業を点検・評価した。家庭教育学級については、家庭教育の諸問題、子どもの健康や遊び等をテーマにし、各市立学校で実施するものであり、年度目標である14回を実施し参加者数も目標を上回りA評価とした。

施策(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進では、4事業を点検・評価した。スポーツ祭東京2013開催準備事業については、弓道及びバスケットボール大会のリハーサル大会を実施し、次年度へ向けて課題の抽出を目標としていたところ、仮設物等雨天時対策を講ずる必要があることが判明するなど成果があったことからA評価とした。

施策(4)文化財の保存と啓発活動の推進では、4事業を点検・評価した。市史編さん活動は、予定よりやや遅れていることから前年度と同じくB評価とした。名勝小金井(サクラ)復活プロジェクトは、計画通り実施できたことからA評価とした。

施策(5)公民館の充実では、6事業を点検・評価した。青年国際交流講座「生活日本語教室」、市民がつくる自主講座については、当該年度目標に対する事業の成果から、それぞれA評価とした。

施策(6)図書館の充実は、4事業を点検・評価した。中でもハンディキャップサービス事業、小金井市立図書館運営方針(改訂版)作成及び図書館児童サービス事業については、設定された年度目標を概ね達成したことからA評価とした。

施策(7)社会教育施設の整備では、5事業を点検・評価した。総合体育館維持管理事業、図書館維持管理業務及び公民館維持管理事業の各施設の維持管理事業については、修繕等を計画的に実行することができたことから、A評価とした。

学校教育編

点検及び評価シート

教育目標及び基本方針を実現するための「明日の小金井教育プラン」に基づき推進した教育施策における主な事業の評価を「点検及び評価シート」で示した。

S … 0事業 0%

A … 37事業 97.4%

B … 0事業 0%

C … 1事業 2.6%

D … 0事業 0%

計 38事業

評価の基準

S	達成している	施策に沿って事業を進め、効果的な結果が得られ、当該年度目標及び事業目標を達成することができた。
A	概ね達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標を概ね達成したが、事業目標を達成するには至っていない。
B	ある程度達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標をある程度達成したが、さらに現状を改善する必要が多分にある。
C	達成することに努力を要する	施策に沿って事業を進めてはいるが、当該年度目標を達成したとはいえ、また、現状について大きな課題がある。
D	着手していない	事業自体に着手できていない。

点検・評価シート総括表（学校教育編）

教育プラン3つの視点

1 小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策	評価事業	担当	評価	前回 評価
(1) 特色ある教育	<p>①校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、家庭、学校、地域が連携・協力した特色ある教育活動を推進する。</p> <p>②豊かな感性を磨き、健全な心を育むために、連合音楽会や連合作品展などを開催し、情操教育を推進する。</p> <p>③学校等における安全管理を徹底し、災害時の被害を最小限にするため、災害発生時の避難経路や緊急時の対応の確認などの安全点検を実施するとともに、児童・生徒等への防災教育と教職員の意識向上等を図る。</p> <p>④毎月の安全指導日やセーフティ教室の取組を充実させ、特に児童・生徒の危機回避能力を高め、犯罪被害の未然防止を図る教育を充実させる。</p> <p>⑤保護者や地域住民との一層の連携を図り、登下校時の見守りや、スクールガードの取組を推進し、通学路や学区域内での児童・生徒の安全確保に努める。</p> <p>⑥就学前教育から小学校教育へ円滑な接続を行うために、幼稚園や保育所と小学校が相互にそれぞれの特性等について正しく理解し合い、連携を強化していく。</p> <p>⑦教職員に自己の職責の重大さを自覚させ、職責遂行のためサービスの厳正を図る。</p>	特色ある教育活動発表会の実施	指導室	A	A

(2)	人権教育	<p>①教育活動全体を通じ、人権尊重の理念の定着を図るために人権教育を一層推進し、偏見と差別のない好ましい人間関係を確立する。</p> <p>②子供、女性、高齢者、障害者、同和問題、外国人、その他の人権問題などの様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進する。</p> <p>③小金井市子どもの権利に関する条例リーフレット、人権教育プログラム、等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。</p> <p>④いじめや暴力行為等、児童・生徒の多様な問題の解決に向け、早期発見・早期対応ができる学校内の体制づくり、未然防止や保護者・関係機関との連携等の取組を充実する。</p> <p>⑤小金井市男女平等基本条例に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を児童・生徒に理解させ、その具現化を図るため、適正な男女平等教育を推進する。</p>	男女平等教育の推進	指導室	A	A
		子どもの権利に関する条例の学校への周知	指導室	A	A	
(3)	社会貢献活動	<p>①社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教師の適切な指導のもと、自然体験学習等の体験活動や社会体験活動、ボランティア活動など社会貢献の活動の充実に努める。</p> <p>②児童・生徒一人一人が人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境を大切にすると、環境問題や環境保全に主体的にかかわることができる能力や態度を育成する。</p>	ボランティアカードの活用	生涯学習課・指導室	A	A
		ボランティア活動の表彰と紹介	指導室	A	A	

(4)	伝統・文化理解教育	<p>①国際社会の中で活躍し、わが国の発展に貢献できる人材を育成するために、小・中学校に外国人英語指導助手を派遣するなど、コミュニケーション能力を育む教育を推進する。</p> <p>②日本や世界の文化・伝統に触れる機会の充実を図り、郷土小金井に対する愛着や誇りを育て、多様な文化に対する理解を深め、国際的視野を広める教育を推進する。</p>	「小金井市の歴史散歩」の配布	生涯学習課・指導室	A	A
			「こがねい郷土かるた」の普及	生涯学習課・指導室	A	A
(5)	体験活動	<p>①キャリア教育の視点に立ち、職場体験学習や農業体験学習、その他の勤労体験学習を拡充し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実を図る。</p>	三宅島との交流	指導室	A	B
(6)	家庭教育	<p>①中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、学校生活や家庭生活における課題を明らかにし、その解決方法について示す。</p>	家庭学習のすすめの作成	指導室	A	A
			保護者向け資料の作成	指導室・生涯学習課	A	A

教育プラン3つの視点

2 知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策	評価事業	担当	評価	前回評価	
(7)	<p>わかる・できる・活かす授業</p>	<p>①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実を図る。</p>	授業力向上研修会	指導室	A	A
		<p>②学生ボランティア等を活用し、授業の指導補助、放課後や夏季休業日等の補充学習を実施するなど、確かな学力の充実を図る。</p> <p>③「わかる・できる・活かす」授業</p>	授業公開等の充実	指導室	A	B

		<p>を展開するために、年間授業計画の充実、授業改善推進プランの作成・活用、児童・生徒による授業評価の実施、校内研修の充実等を推進する。</p> <p>④「わかる・できる・活かす」授業改善研究指定校を定め、授業力向上に関する先進的な研究を行い、その成果を市全体に広める。</p> <p>⑤教職員の職務の専門性や実践的指導力、幅広い識見を一層高め、授業力をより一層向上させるために、教職経験に応じた研究・研修の充実を図る。</p> <p>⑥学習指導要領に基づいた年間指導計画の適正な作成と実施の徹底及び評価の充実を図る。</p>	子供の学習に関する実態把握	指導室	A	A
			体験活動の充実	指導室	A	A
			補習授業等の充実	指導室	A	A
(8)	読書活動と学校図書館	<p>①「小金井市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館補助員を派遣するとともに、目的をもった読書活動を推進し、読書習慣を身に付けさせ、自ら進んで学習する意欲と態度を養う。</p>	「小金井市学校読書活動推進月間」の設定	指導室	A	A
			学校図書館補助員の配置と読書活動の充実	指導室	A	A
(9)	情報教育	<p>①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。</p>	情報モラルの向上	指導室	A	B
			情報活用能力向上のための研修会の実施	指導室	A	A
(10)	科学教育	<p>①地域の大学や研究機関等との連携を図り、小学校理科支援員を派遣するなどして観察・実験補助に活用するなど理科・科学教育を推進する。</p>	近隣大学等の連携	指導室・生涯学習課	A	A
			理科支援員の配置	指導室	A	A

(11)	道徳教育	<p>①児童・生徒が、自他をいつくしみ、命や自然を大切にするなど、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。</p> <p>②学校の全教育活動において道徳教育を充実させ、児童・生徒一人一人が、道徳心や公共心を育み、礼儀正しく生活するための支援を行う。</p> <p>③家庭や地域と連携した道徳教育の推進や道徳授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井において共に生きる子供を育成する。</p>	家庭や地域と連携した道徳教育の推進	指導室	A	A
		道徳副読本の配布	指導室	A	A	
(12)	体力の向上	<p>①児童・生徒が積極的に運動やスポーツに親しみ、心身共に健やかな成長を遂げることができるよう一校一取組運動や小金井市小中学生マラソン大会を推進するなど、体力の向上に努める。</p> <p>②健全な食生活に向けた食育を推進し、生命の大切さや心身の健康についての正しい認識をもつことができるように指導の充実を努める。</p> <p>③関係機関と連携した保健教育を推進し、健康で安全な生活を送る能力や態度の育成を図る。</p> <p>④性にかかわる指導を進めるに当たっては、児童・生徒の発達段階を踏まえ、適切な理解や好ましい人間関係などについての指導の充実を努める。</p>	一校一運動の推進	指導室	A	A
		体力調査の実施	指導室	A	A	
		食育の推進	学務課・指導室	A	A	
(13)	特別支援教育	<p>①学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒が個々の教育ニーズに応じた指導を受けられるように各学校のコーディネーターの育成や校内委員会の実施を支援するとともに、巡回相談や巡回指導などを通して、特別支援教育の</p>	特別支援教室の確保	庶務課・学務課・指導室	A	A

		<p>充実を図る。</p> <p>②特別支援教育支援員を配置し、学校における日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童生徒への支援をさらに充実させる。</p> <p>③障害のある人との相互理解を深め、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶための交流教育の充実や副籍制度に基づいた交流及び共同学習の推進に努める。</p> <p>④特別な支援を必要とする子供のライフステージに応じた効果的な支援を実現するために、福祉、医療、労働、教育等の連携のもと、小金井市特別支援ネットワーク協議会をもとに特別支援教育の体制づくりを推進する。</p>	<p>特別支援学級の増設</p>	<p>庶務課・学務課・指導室</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
			<p>特別支援教育支援員の配置</p>	<p>指導室</p>	<p>A</p>	<p>B</p>

教育プラン3つの視点

3 教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策	評価事業	担当	評価	前回 評価
(14) 新しい学校評価	<p>①小金井市公立学校運営連絡会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、開かれた学校づくりを一層推進する。</p> <p>②学校評価を適切に行い、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効率的で透明性の高い学校運営を推進する。</p>	<p>学校評価の推進</p>	<p>指導室</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
(15) 情報環境	<p>①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。</p>	<p>情報教育アドバイザー派遣の充実</p>	<p>指導室</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
		<p>コンピュータ管理業務者派遣の充実</p>	<p>指導室</p>	<p>A</p>	<p>B</p>
		<p>教育用コンテンツ管理システムの構築</p>	<p>庶務課・学務課・指導室・図書館</p>	<p>A</p>	<p>B</p>

(16)	教育相談・適応指導	<p>①不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの派遣など学校の相談機能を充実させ、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒、保護者等に対する相談体制の充実を図る。</p>	スクールカウンセラー派遣の充実	指導室	A	A
		<p>②スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを活用して、児童虐待や家庭の状況に起因する問題行動等の未然防止及び解決を図る。</p>	スクールソーシャルワーカーの派遣	指導室	A	A
(17)	学校施設	<p>①学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器などの教材・教具、図書などを充実させるとともに有効活用に努める。</p> <p>②ゆとりと潤いのある教育環境づくりのため、校庭等の緑化などに努める。</p>	特別支援学級の冷暖房設備の整備	庶務課・学務課	A	S
			校庭の芝生化の推進	庶務課	A	A
			太陽光発電や風力発電の推進	庶務課	C	A

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、家庭、学校、地域が連携・協力した特色ある教育活動を推進する。 ②豊かな感性を磨き、健全な心を育むために、連合音楽会や連合作品展などを開催し、情操教育を推進する。	
(1)特色ある教育		
担当課	指導室	
事業名	特色ある教育活動発表会の実施 【重点施策A】	
事業内容	各学校で児童・生徒の実態や地域の実情に応じたり、創意工夫を生かしたりする特色ある教育、特色ある学校づくりを進めることで、小金井市の教育の活性化を図る。	
事業目標	各校における特色ある教育活動の充実を図り、特色ある教育活動の発表会を実施する。	
24年度 目標	各校における特色ある教育活動の充実を図り、教育フォーラムにて特色ある教育活動の発表会を実施する。	
事業の 成果	教育フォーラムの場を活用し、小学校2校が特色ある教育活動についての発表を行った。また、市内全校の特色ある教育活動について紙上発表を行った。	
課題	市内全ての学校の特色ある教育活動についての広報活動の充実を図る。	
今後の 対応	特色ある教育活動の発表会（教育フォーラム）を充実させ、継続する。	
長期 計画	長期 目標	23年度：実施、24～27年度：継続
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ②子供、女性、高齢者、障害者、同和問題、外国人、その他の人権問題などの様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進する。 ③小金井市子どもの権利に関する条例リーフレット、人権教育プログラム、等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。 ⑤小金井市男女平等基本条例に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を児童・生徒に理解させ、その具現化を図るため、適正な男女平等教育を推進する。
(2)人権教育	

担当課	指導室	指導室	
事業名	男女平等教育の推進 【重点施策A】	子どもの権利に関する条例の学校への周知 【重点施策A】	
事業内容	男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重され、対等な立場であらゆる活動に共に参画する男女共同参画社会の実現を図るために、学校の教育活動全体を通して男女平等教育を推進する。	「小金井市子どもの権利に関する条例」を学校に周知することで、人権教育を推進する。	
事業目標	人権教育の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくし、人権課題にかかわる差別意識の解消を図り、男女平等教育を推進する。	「小金井市子どもの権利に関する条例」を人権教育の推進に生かす。	
24年度 目 標	各校の人権教育年間計画への位置付けと人権教育推進委員会にて研究し、男女平等教育の推進を含めた人権教育の充実を図る。	子供の権利に関する条例のリーフレットの学校への周知をする。	
事業の 成 果	各校の人権教育年間指導計画への位置付けを行い、人権教育推進委員会を中心に指導内容や指導方法の改善策について研究を深めることができた。	小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレットの周知を校長会・副校長会（2月）で図ることができた。	
課 題	学校や家庭に対して、人権教育推進校や人権教育推進委員会による研究成果のさらなる普及・啓発が必要である。	学校や家庭における、小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレットのさらなる周知が必要である。	
今後の 対 応	一人一人の子供の発達段階に応じ、自己の大切さとともに他者の大切さを認めることができる人権感覚や人権意識を高める人権教育を推進する。	小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレットの活用について、校長会や副校長会だけではなく、職層別研修会や学校訪問等を活用し周知を図る。	
長期 計画	長期 目標	23年度：実施、24～27年度：継続	23年度：実施、24～27年度：継続
	進捗 状況	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教師の適切な指導のもと、自然体験学習等の体験活動や社会体験活動、ボランティア活動など社会貢献の活動の充実に努める。
(3)社会貢献活動	

担当課	生涯学習課・指導室	指導室	
事業名	ボランティアカードの活用 【重点施策B】	ボランティア活動の表彰と紹介 【重点施策B】	
事業内容	全中学生と小学校5・6年生にボランティアカードを配布し、ボランティア活動への参加意欲を高める。	積極的にボランティア活動をしている個人やグループを紹介する機会として、表彰式を行う。	
事業目標	小・中学生や市民へのボランティアカードを作成して配付し、表彰を行う。	ボランティア活動発表会を実施する。	
24年度目標	ボランティアカードを小学校5・6年生と中学生の全員に配布する。	ボランティア活動に取り組んだ個人やグループを小金井市児童・生徒表彰で表彰する。	
事業の成果	ボランティアカードを配布し、活用することで、積極的にボランティア活動に参加する児童・生徒が増えた。	ボランティア活動を価値付け、児童・生徒の意欲向上が図られた。	
課題	社会貢献の精神の育成を広げていくために、これまでのボランティア活動先を広げるなど、ボランティアカード利用の幅を広げる必要がある。	例年同じ団体が表彰を受けており、広がりが必要である。	
今後の対応	ボランティアカードの利用案内書やボランティアカードのデザインの見直しを行い、更に普及、啓発を進める。	ボランティア活動を積極的に行うよう全小・中学校へ働きかける。	
長期計画	長期目標	23～25年度：検討、26～27年度：試行	23～25年度：検討、26～27年度：試行
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成	
教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ②日本や世界の文化・伝統に触れる機会の充実を図り、郷土小金井に対する愛着や誇りを育て、多様な文化に対する理解を深め、国際的視野を広める教育を推進する。
(4)伝統・文化理解教育	
担当課	生涯学習課・指導室
事業名	「小金井市の歴史散歩」の配布 【重点施策B】
事業内容	生涯学習部で作成した「小金井市の歴史散歩」を各学校に40部ずつ配布し、社会科や総合的な学習の時間の学習、道徳に活用し、郷土への理解を進め、郷土を愛する心を育てる。
事業目標	「小金井市の歴史散歩」を各学校の教育に活用し、郷土を愛する心を育てる。
24年度目標	社会科副読本作成委員会で、地域の歴史学習における活用方法を検討する。
事業の成果	「小金井市の歴史散歩」の内容を小学校社会科副読本の資料として、どの部分を引用するか検討し、原稿作成時に活用した。
課題	「小金井市の歴史散歩」を活用した学習指導計画や学習指導案がない。
今後の対応	「小金井市の歴史散歩」を活用した学習教材と学習指導案の検討を行う。
長期計画	長期目標 23～25年度：検討、26年度：実施
進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①キャリア教育の視点に立ち、職場体験学習や農業体験学習、その他の勤労体験学習を拡充し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実を図る。
(5)体験活動	

担当課	指導室	
事業名	三宅島との交流 【重点施策C】	
事業内容	小金井市と三宅島の友好都市盟約を活用し、三宅島の豊かな自然の中で様々な体験活動を行うとともに三宅島の子供との交流を通して豊かな人間性を育てる。	
事業目標	三宅島の子供とメール交換やインターネット会議を実施し、三宅島での子供体験ツアーを開催する。	
24年度 目 標	三宅島の子供との交流方法について検討する。	
事業の 成 果	三宅島の子供が小金井市に来て行う交流について、交流校の決め方や交流内容について校長会と協議・確認することができた。	
課 題	三宅島の子供との交流について、インターネット会議の環境を整える必要がある。	
今後の 対 応	三宅島の子供とのメール交換やインターネット会議の実施、三宅島での子供体験ツアー開催等について、予算や指導計画の内容について検討する。	
長期 計画	長期 目標	23～26年度：検討、27年度：試行
	進捗 状況	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 1小金井らしさの醸成

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、学校生活や家庭生活における課題を明らかにし、その解決方法について示す。
(6)家庭教育 育	

担当課	指導室	指導室・生涯学習課	
事業名	家庭学習のすすめの作成 【重点施策B】	保護者向け資料の作成 【重点施策B】	
事業内容	家庭学習の意義や、学習時間の目安、学習計画の立て方などを示した家庭学習のすすめ「小金井の子供の学習（仮称）」を作成し、家庭での学習習慣の確立やそのための方法などについて啓発を図る。	小学生や中学生の学校生活や家庭生活における課題を示し、その解決方法について、各家庭に啓発する。	
事業目標	「小金井の子供の学習」小学校用、中学校用とも1年ごとに改定し配布を実施する。	「小学生版ハートコンタクト」と「中学生版ハートコンタクト」の隔年作成をする。	
24年度 目 標	「小金井の子供の学習」の目的や内容、スケジュール等について検討する。	「小学生版ハートコンタクト」作成の検討をする。	
事業の 成 果	平成25年度試行の「小金井の子供の学習」の作成に向け、夏休みの課題や家庭学習の在り方について検討した。	中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を参考に「小学生版ハートコンタクト」の内容や効果について検討した。	
課 題	小金井の子供の学習について、掲載内容を具体化する必要がある。	「小学生版ハートコンタクト」の掲載内容や作成方法を具体化する必要がある。	
今後の 対 応	小学校用、中学校用の家庭学習の進めについて、小中学生の発達段階や系統性を考慮して指導規準を設ける。	「小学生版ハートコンタクト」作成、配布に向けた組織づくりや予算確保についての計画を立てる。	
長期 計画	長期 目標	23～24年度：検討、25年度：試行	23～25年度：検討、26年度：実施
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進	
教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実を図る。
(7)わかる・できる・活かす授業	
担当課	指導室
事業名	授業力向上研修会 【重点施策B】
事業内容	地域に広く授業公開をすることや、学校全体で研究授業を行い、「わかる・できる・活かす授業」を目指して、協議会を行う機会を増やして、教員の授業力の向上を図る。
事業目標	全教員が年1回研究授業を実施する。
24年度 目標	授業公開、校内研究・校内研修の充実を図る。
事業の 成果	研究奨励校、「わかる・できる・活かす」授業改善推進校の研究発表等、授業改善のための先進的な研究を行い、取組の成果を市内全校へ広めることができた。
課題	若手教員や産休代替教員、非常勤講師の授業力を向上させること。
今後の 対応	授業力向上とともに、教員のもつ資質・能力を全体的に育成する研修計画を検討する。
長期 計画	長期 目標
進捗 状況	23年度～24：検討、25年度：試行
評価	A
	23年度～27：充実
	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
	A

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実を図る。
(7)わかる・できる・活かす授業	

担当課	指導室	指導室	
事業名	子供の学習に関する実態把握 【重点施策A】	体験活動の充実 【重点施策A】	
事業内容	授業改善の推進に向け、「授業が楽しいか」、「勉強が好きか」など、子供の学習に関する意識調査を実施し、課題を明確にする。	鶴原海の移動教室や清里林間学校、地域での野外観察、校外学習等、体験活動の充実を図る。	
事業目標	学習に関する意識調査や児童・生徒による授業評価を市で統一様式を作成し、実施する。	体験活動を充実させることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び、学習意欲の向上、発展的学習の充実を図る。	
24年度目標	学習に関する意識や定着の程度を把握するアンケート内容について検討する。	体験活動を単元計画の中に位置づけるなど、一層の充実を図る。	
事業の成果	全国学力調査や東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査と関連した小金井市のアンケート内容について検討することができた。	各教科、総合的な学習の時間や学校行事の中の体験活動を見直し、より一層充実を図ることができた。	
課題	東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を活用した授業力向上策の検討が十分でない。	体験活動プログラムのさらなる充実が必要である。	
今後の対応	東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を分析し、学校の授業改善プランに活用することを協議する。	各校の特色ある教育活動等の関連を図りながら、体験活動の充実を図る。	
長期計画	長期目標	23年度：検討、24年度：試行	23～27年度：充実
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実を図る。
(7)わかる・できる・活かす授業	

担当課	指導室	
事業名	補習授業等の充実 【重点施策A】	
事業内容	学生ボランティア等を活用した放課後の補習授業や、夏季補充学習やサマースクール等を行う。	
事業目標	補習学習・補充授業等を全校で実施し、基礎的・基本的な学力の定着をする。	
24年度目標	放課後や夏季休業日の補習学習・補充授業を行う。	
事業の成果	近隣大学生による学習補助、理科実験補助により、児童・生徒の学力向上を図ることができた。	
課題	通年で学生ボランティア等の確保をすることや、理科支援員等、専門的な知識のあるボランティアを確保すること。	
今後の対応	近隣大学のインターンシップ制度を活用するなど、学生ボランティアの計画的な運用を行う。	
長期計画	長期目標 23～27年度：充実	
	進捗状況 A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	
評価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①「小金井市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館補助員を派遣するとともに、目的をもった読書活動を推進し、読書習慣を身に付けさせ、自ら進んで学習する意欲と態度を養う。
(8)読書活動と学校図書館	

担当課	指導室	指導室	
事業名	「小金井市学校読書活動推進月間」の設定 【重点施策B】	学校図書館補助員の配置と読書活動の充実 【重点施策C】	
事業内容	各校で読書活動推進月間を設定し、この期間に児童・生徒の読書活動を推進する展示等を行う。また、夏休みの期間を活用し、「小金井市読書感想文コンクール」を実施する。	学校図書館補助員の配置日を拡充し、読書活動の一層の充実を図る。	
事業目標	読書活動推進月間を実施する。	学校図書館補助員を1日5時間、週5日配置する。	
24年度 目標	読書活動推進月間の実施期間や読書活動推進計画を学校読書活動推進委員会で検討する。	学校図書館補助員の配置日の拡充を検討する。	
事業の 成果	読書活動推進月間を各学校で指定し、読書環境の整備や図書紹介等を充実させ、年間指導計画に基づいて実施できた。	図書館管理システムの導入に伴う学校図書館補助員の業務内容の見直しや、拡充のための予算を検討することができた。	
課題	全校で読書活動推進月間を共通にするためには、年間指導計画の調整・変更が必要になる。	学校図書館システムの活用や図書館ボランティアによる本の整備を行い、環境整備を推進する。	
今後の 対応	各学校が行っている読書活動推進のための実践事例の情報交換を行う。	学校図書館補助員の業務内容の見直しや、拡充のための予算を検討を継続して行う。	
長期 計画	長期 目標	23～24年度：検討、25年度：試行	23～26年度：検討、27年度：試行
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。
(9)情報教育	

担当課	指導室	指導室	
事業名	情報モラルの向上 【重点施策A】	情報活用能力向上のための研修会の実施 【重点施策A】	
事業内容	家庭・地域との連携の下、ICTの正しい使い方やインターネットやメールなどの利用に関するモラルやマナーを身に付けるための情報モラル教育の充実を図る。	ICTを円滑かつ効果的に活用するために、教職員対象の研修会を実施し、教員の情報活用能力の向上を図る。	
事業目標	教員対象に情報モラルの効果的な指導法について研修会を実施する。また、セーフティ教室等で、情報モラルについての公開授業を実施する。	教員対象にICT活用能力向上のための研修会を実施する。	
24年度 目標	教員向け情報モラル研修やセーフティ教室にて情報モラル教室を実施する。	教員対象にICT活用能力向上のための研修会を実施する。	
事業の 成果	外部講師による教職員、児童・生徒の情報モラルの研修を実施することができた。	近隣大学と連携し、教員対象にICT活用能力向上のための研修会を実施できた。	
課題	情報機器や情報サービスの進歩が速く、SNSの発展に伴う新たな問題が発生している。	教員のICT活用能力の差や、電子黒板等、機器が十分でない。	
今後の 対応	東京都ファミリールール講座の実施と普及をしていく。	教員対象にICT活用能力向上のための研修会、校内研究・校内研修を一層充実させていく。	
長期 計画	長期 目標	23年度：実施、24～27年度：継続	23年度：実施、24～27年度：継続
	進捗 状況	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①地域の大学や研究機関等との連携を図り、小学校理科支援員を派遣するなどして観察・実験補助に活用するなど理科・科学教育を推進する。
(10)科学教育	

担当課	指導室・生涯学習課	指導室
事業名	近隣大学等の連携 【重点施策B】	理科支援員の配置 【重点施策A】
事業内容	東京学芸大学等と連携して「青少年のための科学の祭典」を開催している。科学技術教育を推進するため、近隣大学や企業とのさらなる連携を図る。	小学校に理科支援員を配置し、理科の授業における観察・実験等の活動の充実を図る。
事業目標	大学講師等による出前授業や科学実験講座を実施する。	全小学校に理科支援員を配置する。
24年度目標	出前授業、科学講座開催の外部講師を集める。	小学校の理科支援員活用を充実する。
事業の成果	民間企業や地域のボランティアによる出前授業、科学講座を実施した。	理科支援員による理科授業の充実と学習環境の整備を行った。
課題	学習指導要領に沿った内容であることや、学校のニーズを踏まえた授業になるように調整を行うこと。	年間計画に基づき理科支援員の意図的・計画的な運用をする。
今後の対応	学習指導要領に沿った内容であることや授業展開になるように説明していく。	大学の理科専科の学生や教員免許状を取得している理科支援員を増やすように募集方法の見直しをする。
長期計画	長期目標 23～24年度：検討、25年度：試行	23～27年度：充実
進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①児童・生徒が、自他をいつくしみ、命や自然を大切にするなど、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。 ②学校の全教育活動において道德教育を充実させ、児童・生徒一人一人が、道德心や公共心を育み、礼儀正しく生活するための支援を行う。 ③家庭や地域と連携した道德教育の推進や道德授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井において共に生きる子供を育成する。
(11)道德教育	

担当課	指導室	指導室	
事業名	家庭や地域と連携した道德教育の推進 【重点施策A】	道德副読本の配布 【重点施策B】	
事業内容	学校・家庭・地域の連携を生かした道德授業を実施する。	道德教育の充実を図るために、小学校、中学校に道德副読本を配布する。	
事業目標	全小・中学校で保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道德授業を実施する。	道德副読本を毎年、小・中学校へ配布する。	
24年度目標	保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道德授業を試行する。	中学校へ道德副読本を配布する。	
事業の成果	保護者をゲストティーチャーとして招いた道德授業地区公開講座を実施できた。	中学校へ道德副読本を配布し、道德授業の充実が図れた。	
課題	児童・生徒の道德性を育むために、学校・家庭・地域のさらなる連携の充実、家庭への働きかけが必要である。	配布した道德副読本の活用状況や、道德教育の推進についての検証が必要である。	
今後の対応	全小・中学校で保護者や地域の方と連携した道德教育が行えるように、道德授業地区公開講座の成果を校長会や道德教育推進委員会で発信していく。	小学校、中学校に道德副読本を使用する効果について周知し、道德副読本の更なる活用を図る。	
長期計画	長期目標	23～24年度：試行、25年度：実施	23～24年度：検討、25年度：試行
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①児童・生徒が積極的に運動やスポーツに親しみ、心身共に健やかな成長を遂げることができるよう一校一取組運動や小金井市小中学生マラソン大会を推進するなど、体力の向上に努める。
(12)体力の 向上	

担当課	指導室	指導室	
事業名	一校一運動の推進 【重点施策A】	体力調査の実施 【重点施策B】	
事業内容	各校が体力向上のための重点目標を設定し、体力のさらなる向上を図るとともに運動が好きな児童・生徒の増加を図る。	児童・生徒の体力の実態を把握するために各校で体力調査を実施し、体力向上推進委員会を中心に分析し、体力向上施策に反映させる。	
事業目標	各校における体育的活動の充実を図る。	全学校全学年での体力調査の実施及び結果の分析を委託し、改善に生かし体力のさらなる向上を図る。	
24年度 目標	各校における体育的活動を意図的・計画的に実施させる。	体力向上推進委員会で体力調査の分析をする。	
事業の 成果	全小中学校で、一校一取組の実施、小学校で一学級一取組を実施した。	体力向上推進委員会を中心に体力調査の分析を行い、各校の体育的活動の充実を図ることができた。	
課題	体育の時間や体力向上に向けた取組の充実に向け、教員のさらなる指導力の向上が必要である。	体力調査の結果や調査結果を受けた授業改善のポイントについて、全教員への一層の周知が必要である。	
今後の 対応	各学校における特色ある体育的活動のさらなる充実を図るとともに、運動をしない子供に対する手立てを検討する。	小学校5年生と中学校2年生の体力調査の実施及び結果を分析をし、各校の体育授業の改善に反映させる。	
長期 計画	長期 目標	23年度：実施、24～27年度：継続	23～24年度：検討、25年度：試行
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進		
教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ②健全な食生活に向けた食育を推進し、生命の大切さや心身の健康についての正しい認識をもつことができるように指導の充実に努める。	
(12)体力の 向上		
担当課	学務課・指導室	
事業名	食育の推進 【重点施策C】	
事業内容	各小・中学校の食育リーダーの教員を中心に食に関する指導を計画的に進める。食育リーダー会議で食に関する学習の実践・研究を行い、家庭における食生活の大切さの理解を図る。	
事業目標	家庭での食生活に関するリーフレットの作成・配布を行う。	
24年度 目標	学校での食に関する指導計画を作成し、食育に関する取組や授業を実施する。	
事業の 成果	地場野菜を活用するなど、栄養教諭による食に関する学習の授業研究を行った。	
課 題	地域食材を生かした食育に関する授業の教材開発を行う。	
今後の 対 応	食育授業を生かした、家庭向けリーフレットの具体的な内容の検討をする。	
長期 計画	長期 目標	23～26年度：検討、27年度：試行
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒が 個々の教育ニーズに応じた指導を受けられるように各学校のコーディネーターの育成や 校内委員会の実施を支援するとともに、巡回相談や巡回指導などを通して、特別支援教 育の充実を図る。
(13)特別支 援教育	

担当課	庶務課・学務課・指導室	庶務課・学務課・指導室	
事業名	特別支援教室の確保 【重点施策B】	特別支援学級の増設 【重点施策A】	
事業内容	特別な支援が必要な児童・生徒への支 援をさらに充実させるために全小中学校 に特別支援教室を設置する。	計画的に特別支援学級を開設すること で、一人一人の児童・生徒へ対応した指 導の充実を図る。	
事業目標	各校に特別支援教室を設置する。	特別支援学級の固定学級を小学校3 校、中学校2校に設置する。また、情緒 障害等学級（通級指導学級）を小学校3 校、中学校1校に設置する。	
24年度 目標	特別支援教室の確保に向けた学校の実 態や実施計画等について検討する。	中学校の特別支援学級整備に向け準備 をする。	
事業の 成果	小学校9校に特別支援教室を設置した 場合のモデルプランを検討し、作成する ことができた。	中学校特別支援学級整備ができた。 (知的障害学級及び自閉症・情緒障害学 級の新設、通級指導学級の移設)	
課題	中学校の特別支援教室について、東京 都において方向が示されていない。特別 支援教室を確保するスペースがない学校 がある。	自閉症・情緒障害学級の生徒への一人 一人に応じた一層の教科指導に取り組む こと。	
今後の 対応	特別支援教室を設置できる学校から試 行を始める。	設置した特別支援学級の運営が安定す るように支援をする。	
長期 計画	長期 目標	23～24年度：検討、25年度試行	23：試行、24～27：充実
	進捗 状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 2知育・徳育・体育の推進

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ②特別支援教育支援員を配置し、学校における日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童生徒への支援をさらに充実させる。
(13)特別支援教育	

担当課	指導室	
事業名	特別支援教育支援員の配置 【重点施策A】	
事業内容	特別支援教育支援員の拡充を進め、特別な支援が必要な児童・生徒への支援をさらに充実させる。	
事業目標	特別支援教育支援員を各学校1人ずつ配置する。	
24年度目標	特別支援教育支援員配置の充実を行う。	
事業の成果	昨年度より2人多い4人の特別支援教育支援員を巡回させ、特別な支援の必要な児童・生徒の支援をすることができた。	
課題	特別支援教育支援員の途中退職者が出たため、年度途中で支援員を変更せざるを得なかった。	
今後の対応	充実に向けて、特別支援教育支援員を増員し、曜日を固定し、通年で巡回配置できるようにする。	
長期計画	長期目標	23年度：試行、24～27年度：充実
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①小金井市公立学校運営連絡会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、開かれた学校づくりを一層推進する。 ②学校評価を適切に行い、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効率的で透明性の高い学校運営を推進する。
(14)新しい 学校評価	

担当課	指導室	
事業名	学校評価の推進 【重点施策C】	
事業内容	学校経営計画に基づいた特色ある教育活動について、その重点取組等について保護者や地域に説明し、保護者や地域からの学校評価の充実を図る。	
事業目標	全小・中学校で、第三者評価を実施する。	
24年度 目標	第三者評価の実施地区やその実施状況について検討する。	
事業の 成果	平成27年度試行に向け、第三者評価を導入している自治体等の実施状況について確認した。	
課題	学校評価の内容を市の教育施策にどのように活かしていくのか、そのための方策等が曖昧である。	
今後の 対応	今後の学校評価の在り方について、第三者評価を含めて研究する。	
長期 計画	長期 目標	23～26年度：検討、27年度：試行
	進捗 状況	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。
(15)情報環境	

担当課	指導室	指導室	
事業名	情報教育アドバイザー派遣の充実 【重点施策C】	コンピュータ管理業務者派遣の充実 【重点施策A】	
事業内容	学校に配置されたコンピュータ機器、地上デジタルテレビを活用した授業をサポートする情報教育アドバイザーを拡充して配置し、授業のサポートや情報機器のメンテナンスを行える体制をつくる。	コンピュータの保守、点検、整備、コンピュータ操作、活用に係る助言・相談を行うコンピュータ管理業務者を現在の1名から増員し、各学校に必要なに応じて派遣する。	
事業目標	全小・中学校へ情報教育アドバイザーを1週間に1日派遣する。	全小・中学校に週1日派遣する。	
24年度目標	情報教育アドバイザーを拡充し、学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。	コンピュータ管理業務者による学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。	
事業の成果	学校の要請により情報教育アドバイザーを派遣することができた。	各学校の要望に応え、早期対応・早期解決が図られた。	
課題	情報教育アドバイザーの人材を確保すること。	コンピュータ管理業務者の人材を確保すること。	
今後の対応	平成23年度に拡充した情報教育アドバイザーを継続していく。	コンピュータ管理業務者を継続していく方法を検討する。	
長期計画	長期目標	23～27年度：検討	23～27年度：充実
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 (15)情報環境 ①情報活用能力の育成に向けた研修会の充実を図り、情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。
(15)情報環境	(17)学校施設 ①学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器などの教材・教具、図書などを充実させるとともに有効活用に努める。

担当課	庶務課・学務課・指導室・図書館	
事業名	教育用コンテンツ管理システムの構築 【重点施策C】	
事業内容	教員一人に1台校務用パソコンを配置し、校内LAN敷設により業務の効率化を図り校務を軽減する。さらに各学校間、市立図書館、教育委員会ともネットワークを結んでいく。	
事業目標	情報センターを設置し学校・教育委員会を結ぶネットワークを実施する。	
24年度 目 標	校務用パソコンの活用について検討する。 学校図書館システムを導入する。	
事業の 成 果	校務用パソコンで指導要録や通知表を作成するなど、業務効率化が図られた。 システムを導入し、学校図書館運営の効率化と正確化を実現した。また、児童・生徒がシステムを使用し、図書の検索や予約をすることが可能となり、児童・生徒の読書活動の推進につながった。	
課 題	具体的な業務の効率化の実践が充分には全校へ普及していない。 学校間等とのネットワークが構築できていない。	
今後の 対 応	教職員による情報活用の実践的な研修及びネットワーク設定について検討する。	
長期 計画	長期 目標	23～27年度：検討
	進捗 状況	A 計画どおり ⑤ 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ①不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの派遣など学校の相談機能を充実させ、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒、保護者等に対する相談体制の充実を図る。 ②スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを活用して、児童虐待や家庭の状況に起因する問題行動等の未然防止及び解決を図る。
(16)教育相談・適応指導	

担当課	指導室	指導室	
事業名	スクールカウンセラー派遣の充実 【重点施策C】	スクールソーシャルワーカーの派遣 【重点施策A】	
事業内容	いじめ、不登校等の問題を早期発見・早期対応するために、子供たちが困っていることを気軽に相談できるように全小中学校にスクールカウンセラーを派遣する。	不登校や虐待、問題行動傾向のある児童・生徒への指導充実を図るために、専門的な資格をもつスクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関との連絡調整を図る。	
事業目標	スクールカウンセラーを全小・中学校に週5日間配置する。	スクールソーシャルワーカーの全校配置をする。	
24年度目標	全小・中学校のスクールカウンセラー派遣効果の把握とその充実を図る。	市内全小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣する。	
事業の成果	全小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、子供や保護者の教育相談への対応や教職員への助言など、各校の教育相談体制の充実を図ることができた。	東京学芸大学と連携研究により、既存の教育相談体制を活用しながら、スクールソーシャルワーカーの派遣による、各校の教育相談の充実を図ることができた。	
課題	児童・生徒、保護者の相談件数の増加に対応するための派遣時間が確保されていない。	学校、家庭、地域に対してスクールソーシャルワーカーの存在や役割等についての周知が十分ではない。	
今後の対応	全小・中学校の派遣日数の充実をしていく。	学校の要請に応じたスクールソーシャルワーカーの派遣の充実について検討する。	
長期計画	長期目標	23～26年度：検討、27年度：試行	23～27年度：試行
	進捗状況	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施 ①学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器などの教材・教具、図書などを充実させるとともに有効活用に努める。	
(17)学校施設		
担当課	庶務課・学務課	
事業名	特別支援学級の冷暖房設備の整備 【重点施策A】	
事業内容	特別支援学級には、体温調節が苦手な児童・生徒が在籍している。子どもたちが集中して学習できるように、冷暖房設備の設置を進める。	
事業目標	全特別支援学級への冷暖房設備設置	
24年度目標	特別支援学級増設や学級増に応じて適切にエアコンを設置していく。	
事業の成果	25年4月に、第一中学校に知的障害及び自閉症・情緒障害の特別支援学級（固定学級）を新設し、第一中学校の情緒障害学級（通級指導学級）を緑中学校に移設するため、新しい学級の開設に必要なエアコンを設置した。	
課題	次年度の学級数の見込みは次年度予算編成後である。学校内全ての教室にエアコンを設置していないため、急な学級増があった場合、校内の教室の配置変更等によっては、エアコンを新たに設置する必要があるが、年度当初の設置が難しい。	
今後の対応	特別支援学級増設や学級増に応じて適切にエアコンを設置していく。	
長期計画	長期目標	23～27年度：充実
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

【教育プラン3つの視点】 3教育環境の整備

教育プラン 17の取組	平成24年度教育施策 ②ゆとりと潤いのある教育環境づくりのため、校庭等の緑化などに努める。
(17)学校施設	

担当課	庶務課	庶務課	
事業名	校庭の芝生化の推進 【重点施策A】	太陽光発電や風力発電の推進 【重点施策A】	
事業内容	校庭の芝生化等による緑化を行い、ゆとりと潤いのある教育環境をつくることに加え、環境への配慮についても目的とした事業	学校へ太陽光発電や風力発電の導入をする事で、温室効果ガス排出量の削減を図るとともに環境問題や環境保全の学習に活用する事を目的とした事業	
事業目標	市立小中学校全14校の校庭を芝生化する	市立小中学校に太陽光発電や風力発電を導入する	
24年度目標	市立小学校1校の校庭を芝生化する	市立小中学校1校に太陽光発電や風力発電の設備を設置する。	
事業の成果	前原小学校運動場芝生整備工事として小学校1校の校庭芝生化を実施した。	目標達成はできなかったが、今後に向けて引き続き検討を行った。	
課題	校庭の芝生化については、実施に当たり、学校や校庭利用団体等の理解、維持管理作業の協力者が必要であり、行政主導のみでは実施が難しい。	太陽光発電や風力発電の設置場所については需要を考えると共に日照や通風条件を考えた上で、児童生徒が学習しやすい場所への設置が望ましく、設置場所の選定が難しい。	
今後の対応	校庭の芝生化については、その教育効果を検証するとともに、学校の芝生化への理解促進に努める。また、芝生化が完了した学校への維持管理方法の指導などのサポートを行っていく必要がある。	太陽光発電や風力発電の整備については、各学校の実情に応じ、計画的に行っていく必要がある。	
長期計画	長期目標	23～27年度：充実	23～27年度：充実
	進捗状況	④ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	A 計画どおり ⑤ 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	C	

生涯学習編

点検及び評価シート

教育目標及び基本方針を実現するための「明日の小金井教育プラン」に基づき推進した教育施策における主な事業の評価を「点検及び評価シート」で示した。

S	…	0事業	0%
A	…	26事業	83.9%
B	…	5事業	16.1%
C	…	0事業	0%
D	…	0事業	0%

計 31事業

評価の基準

S	達成している	施策に沿って事業を進め、効果的な結果が得られ、当該年度目標及び事業目標を達成することができた。
A	概ね達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標を概ね達成したが、事業目標を達成するには至っていない。
B	ある程度達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標をある程度達成したが、さらに現状を改善する必要が多分にある。
C	達成することに努力を要する	施策に沿って事業を進めてはいるが、当該年度目標を達成したとはいえ、また、現状について大きな課題がある。
D	着手していない	事業自体に着手できていない。

点検・評価シート総括表（基本方針4）

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

施策(7)		平成24年度教育施策	評価事業	担当	評価	前回評価
(1)	生涯学習の推進	①市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう、生涯学習施策を推進する。 ②学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。 ③地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。 ④退職前後の中高年齢を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。 ⑤市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。	まなびあい出前講座	生涯学習課	A	—
			青少年のための科学の祭典	生涯学習課	A	A
			中近東歴史文化講座	生涯学習課	A	B
			ボランティアセミナー	生涯学習課	B	—
			団塊の世代のための地域参加講座	生涯学習課	A	A
(2)	青少年教育の推進	①家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。 ②子供たちの安全安心な居場所づくりとしての「放課後子ども教室」事業を学校、家庭地域と一体となって実施する取組の充実を図る。 ③清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育てていくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。	家庭教育学級	生涯学習課	A	—
			放課後子ども教室	生涯学習課	A	A
			少年自然の家維持管理事業	生涯学習課	A	—

(3)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	<p>①幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。</p> <p>②誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p> <p>③スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。</p> <p>④楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。</p> <p>⑤平成25年に予定されているスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)に向けて、リハール大会を実施し、準備を促進させる。</p>	市民体育祭	生涯学習課	A	A
			体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業	生涯学習課	A	A
			スポーツ推進委員事業	生涯学習課	B	A
			スポーツ祭東京2013開催準備事業	国体推進担当	A	—
(4)	文化財の保存と啓発活動の推進	<p>①貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。</p> <p>②市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編の刊行に向け、編さん活動の充実を図る。</p> <p>③市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。</p> <p>④史跡玉川上水、名勝小金井(サクラ)の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。</p>	文化財センター維持管理事業	生涯学習課	A	—
			市史編さん活動	生涯学習課	B	B
			古文書講座	生涯学習課	A	—
			名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト	生涯学習課	A	A

(5)	公民館の充実	<p>①誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。</p> <p>②公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。</p> <p>③事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。</p> <p>④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。</p> <p>⑤市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。</p> <p>⑥広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。</p>	青年国際交流講座 「生活日本語教室」	公民館	A	A
			ITサポート事業 「こがねいパソコン相談室」	公民館	B	B
			市民がつくる自主講座	公民館	A	A
			地域コミュニティ施設研究講座Ⅲ (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	公民館	A	—
			高齢者の生きがいづくり講座 (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	公民館	A	—
			団塊の世代地域デビュー講座 (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	公民館	A	—
(6)	図書館の充実	<p>①「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が利用できる図書館運営に努める。</p> <p>②時代に即した図書館運営を推進するため、平成元年12月に策定(平成4年3月一部改正)された「小金井市立図書館運営方針」を改訂する。</p> <p>③平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センター図書館貫井北分室開設に向けて、本格的準備に着手する。</p> <p>④子供の読書活動推進のため、引き続き読書環境の整備に努め、新たに「子どもと読書に関する講座」を開催し、市民の子供の読書に関する活動の育成・支援に努める。</p>	ハンディキャップサービス事業	図書館	A	A
			小金井市立図書館運営方針(改訂版)作成	図書館	A	—
			(仮称)貫井北町地域センター図書館分室開設事業	図書館	B	—
			図書館児童サービス事業	図書館	A	—
(7)	社会教育施設の整備	<p>①市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。</p> <p>②市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。</p> <p>③公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的</p>	総合体育館維持管理事業	生涯学習課	A	A
			スポーツ開放・学校開放	生涯学習課	A	A

	<p>に推進する。</p> <p>④平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センターについて、平成23年度の実施設計に引き続き、今年度は建設工事に着手する。</p> <p>⑤安全・安心な施設管理のため、図書館本館の耐震診断を実施する。</p> <p>⑥快適な読書環境を提供するため、図書館本館空調機器改修の促進に努める。</p>	図書館維持管理業務	図書館	A	A
		公民館維持管理事業	公民館	A	S
		(仮称)貫井北町地域センター建設事業	公民館	A	—

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1)生涯学習の推進	平成24年度教育施策 ①市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう、生涯学習施策を推進する。
------------	---

担当課	生涯学習課	
事業名	まなびあい出前講座	
事業内容	市民・団体が主催する学習会に、市役所・警察署・消防署や各種団体・企業の職員が出向き、担当事業などについての講演・講座を実施する。	
事業目標	市民のグループ、団体による学習の場づくりを進め、生涯学習活動を支援する。	
24年度目標	実施回数55回 聴講者数1,000人	
事業の成果	実施回数46回 聴講者数は898人	
課題	担当課が繁忙期の場合などは対応できないことなども実施回数が増えない原因の一つとして考えられる。	
今後の対応	市民のニーズに的確に対応するため、新規事業等、新たに講座として追加できるものがないか毎年確認を行っている。今後もアンケート等を参考に柔軟な対応をし、継続して実施する。	
長期計画	長期目標	23～27年度：推進
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1)生涯学習の推進	平成24年度教育施策 ②学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。	
担当課	生涯学習課	
事業名	青少年のための科学の祭典	
事業内容	教育・研究機関及び各種企業・団体等との連携により、実験やものづくりブースなど、青少年に科学の楽しさ・不思議さを体験してもらうイベントを開催する。中学生のボランティアも募り、社会体験の場を与えている。	
事業目標	自然科学の面白さや発見の喜びの体験を通じて、青少年の豊かな感性と深い知性の育成に寄与するとともに、地域に新たな文化を創造する。	
24年度目標	来場者数8,000人 中学生ボランティア100人	
事業の成果	来場者数8,095人 中学生ボランティア72人	
課題	徐々に規模が大きくなってきているので、今後も無事故で開催できるよう万全の対策を進める。中学生ボランティアについては、中学生の意識は高いものの、部活等の日程と重なってしまうなど、やむをえない状況もある。	
今後の対応	開催後の反省会や事前会議での意見を活かし、安全を確保しつつ更なる来場者数の増加を目指す。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1)生涯学習の推進		平成24年度教育施策 ③地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。	
担当課	生涯学習課	生涯学習課	
事業名	中近東歴史文化講座	ボランティアセミナー	
事業内容	中近文化センターと連携し、市民や中学生を対象とした中近東に関する歴史、文化及び美術等を主題とした講座を開催する。	小平市、国分寺市、小金井市、東京学芸大学と連携し、コーディネーターや学習アドバイザーなどのボランティアを養成する講座を開催する。	
事業目標	地域の貴重な資源である中近東文化センターを市民に知ってもらうとともに、中近東の文化に関する知識を深めてもらう。	ボランティアへ興味のある方へは活動のスタートへのサポートをする。すでに地域で活躍している方へは更なるスキルアップの支援を行う。	
24年度目標	延べ参加者数210人	受講者数160人	
事業の成果	延べ参加者数218人	受講者数124人。昨年の114人よりは増加したが、目標には達しなかった。受講者の活動の場を確保するため、受講者・ボランティア団体・行政等の交流会が実施された。	
課題	平成25年度から中近東文化センターが博物館及び図書館の一般公開終了に伴い、これまで講座を担当していた学芸員が辞めてしまうことから、実施内容の見直しが必要となる。	講座を受講した方が、地域で活動できる場が十分には確保されていない。	
今後の対応	収蔵品の展示会など、新たな内容を検討した上で実施を継続していく。	受講者に、放課後子ども教室等での活動の場を提供するシステムを検討する。	
長期計画	長期目標	25年度：推進、26～27年度：継続	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A		B

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1)生涯学習の推進	平成24年度教育施策 ④退職前後の中高年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。	
担当課	生涯学習課	
事業名	団塊の世代のための地域参加講座	
事業内容	定年退職を迎える方等を対象に、市の歴史、地域活動や暮らし方などを紹介する講座を開催する。	
事業目標	定年退職者等が地域貢献活動への参画の機会や生きがいを見つけられるような具体的、実践的な情報を提供する。	
24年度目標	講座参加者数200人	
事業の成果	講座参加者数222人	
課題	受講者が、その後実際にどれだけ地域で活躍しているかを把握する必要がある。	
今後の対応	受講者の追跡調査等を行い、地域活動への参加状況を把握するとともに、講座内容の更なる充実を目指す。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている ② 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(2)青少年教育の推進	平成24年度教育施策 ①家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。
-------------	---

担当課	生涯学習課	
事業名	家庭教育学級	
事業内容	家庭教育の諸問題、家族関係、子どもの健康や遊び、文化等をテーマとした講座・講演・イベント等を各校年1回企画・実施する。	
事業目標	家庭と学校・地域が連携し、児童・生徒のより良い教育環境づくりと人間性豊かな子どもの育成を図るために、保護者と子どもがともに学習するための場を設け、家庭内教育の充実、向上に資する。	
24年度目標	実施回数14回 参加者数2,800人	
事業の成果	実施回数14回 参加者数2,828人	
課題	各学校で独自に企画・実施しているため、内容はまちまちである。事業本来の目的を実施者によく理解してもらう必要がある。	
今後の対応	適正に実施されるよう、今後も事業目的の理解の徹底を図りつつ、内容を充実する。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(2)青少年教育の推進	平成24年度教育施策 ②子供たちの安全安心な居場所づくりとしての「放課後子ども教室」事業を学校、家庭地域と一体となって実施する取組の充実を図る。
-------------	---

担当課	生涯学習課	
事業名	放課後子ども教室	
事業内容	放課後や週末等に学校施設等を活用し、地域の方々の参画を得て、読書教室や工作教室、校庭遊びなどを実施する。	
事業目標	子ども達の安全・安心な居場所をつくり、学習・スポーツ・文化活動及び地域の方々との交流の機会を与えることで、子ども達が地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境をつくる。	
24年度目標	参加人数26,000人 実施回数550回	
事業の成果	参加人数25,773人 実施回数682回	
課題	ボランティアセミナーとの連携を進め、安定して人材を確保する仕組みをつくる。各校区間の調整を密にし、より円滑で効率的な運営を図る。	
今後の対応	平成25年度から、各校に1人ずつコーディネーターを配置することができた。これにより、学校・地域・行政の連携、校区間の調整を密にし、より円滑な運営を目指す。	
長期計画	長期目標	24年度：全校区に実行委員会を設置 25年度：全校にコーディネーターを配置 26～27年度：推進
	進捗状況	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(2)青少年教育の推進	平成24年度教育施策 ③清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育んでいくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。
-------------	---

担当課	生涯学習課	
事業名	少年自然の家維持管理事業	
事業内容	自然豊かな少年の家清里山荘を、市民が気軽に利用でき親しみのもてる施設、安全で利用しやすい施設とすることを基本として、指定管理者制度を導入し、効率的・経済的に管理運営する。	
事業目標	より多くの市民の快適な利用を促進する。	
24年度目標	利用者数10,000人	
事業の成果	利用者数9,656人	
課題	障害のある方のための部屋の浴室の使い勝手改善や、団体棟の和式便所を洋式便所へ一部変更するなど、時代に合った設備への改修が必要。	
今後の対応	上記課題への対応及び計画的な老朽化対策を行い、安全な運営と更なる利用促進を図る。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進	平成24年度教育施策 ①幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。	
担当課	生涯学習課	
事業名	市民体育祭	
事業内容	水泳、野球、テニス、卓球、弓道、ラジオ体操等、全29種目の大会を実施する。	
事業目標	市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会をつくり、スポーツを通じた健康の維持増進を図る。	
24年度目標	延べ参加者数8,350人	
事業の成果	延べ参加者数8,031人	
課題	若干参加者数が減少傾向にある。工事等で施設が使用できない場合の会場の確保が課題である。	
今後の対応	近隣市や市内大学等との連携を図り、会場の確保に努める。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進	<p>平成24年度教育施策</p> <p>②誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p> <p>③スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。</p> <p>④楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。</p>
-----------------------	--

担当課	生涯学習課	
事業名	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業	
事業内容	スポーツ行政に深く関わりのある体育協会と総合型地域スポーツクラブに対して、補助金交付要綱に基づきながら補助金を交付する。	
事業目標	スポーツ団体への運営経費を補助することにより、スポーツの振興を図る。	
24年度目標	<p>婦人子供スポーツ大会参加者数1,700人</p> <p>各種共催大会参加者数8,200人</p> <p>卓球教室参加者数2,000人</p> <p>テニール大会参加者数250人</p>	
事業の成果	<p>体育協会は、婦人子どもスポーツ大会参加者数は1,597人、各種共催大会参加者数は8,460人で、その他にも青少年スポーツ育成事業等を実施し、総合型地域スポーツクラブは、卓球教室参加者数は1,763人、テニール大会参加者数は223人で、その他にも、様々なスポーツ振興事業、健康増進事業、文化・芸術振興事業、スポーツ・健康・文化啓発事業を実施し、スポーツの振興を図った。</p>	
課題	市民ニーズの把握、適正な補助金額の設定。	
今後の対応	各団体の役割に応じた事業実施、補助金額の妥当性について、定期的に確認・見直しを図りながら団体の活動に対し補助をしていく。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	<p>Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている</p> <p>C 大きく遅れている</p>
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進	平成24年度教育施策 ③スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。	
担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ推進委員事業	
事業内容	スポーツ推進委員を委嘱、育成し、スポーツの推進に係る体制の整備を図る。	
事業目標	スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を行うとともに、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行えるよう育成を行う。	
24年度目標	定例会参加率100% 研修会等への参加人数延べ130人	
事業の成果	定例会を9回開催（参加率96%） 研修会等への参加9回（延べ70人）	
課題	平成25年度、本市のスポーツ推進委員（旧体育指導委員）制度が発足して50周年を迎える。	
今後の対応	平成25年度は、これまでの軌跡、活動記録を後世に残すため、50周年式典及び記念誌の発行を行う。平成26年度以降は次の50年へ向けて取り組みを継続していく。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	B	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(3)スポーツ・レクリエーション活動の推進	<p>平成24年度教育施策 ⑤平成25年に予定されているスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)に向けて、リハーサル大会を実施し、準備を促進させる。</p>
担当課	国体推進担当
事業名	スポーツ祭東京2013開催準備事業
事業内容	平成25年に開催されるスポーツ祭東京2013の運営に万全を期すため、本市開催競技の弓道競技及びバスケットボール競技のリハーサル大会を実施する。
事業目標	第68回国民体育大会開催方針に基づき、スポーツ祭東京2013として、市民の英知とエネルギーを結集し、総力を挙げて、魅力と感動あふれる大会を実現する。
24年度目標	スポーツ祭東京2013のリハーサル大会(①第59回全日本勤労者弓道選手権大会及び②第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール大会)を実施し、大会運営に関わる課題の抽出を行い、その解決を目指す。
事業の成果	①第59回全日本勤労者弓道選手権大会では、仮設物等の雨天時対策を講ずる必要があることが判明した。 ②第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会では、競技会場の照度が不足している旨の指摘を受け、改修する必要があることが判明した。
課題	弓道競技では、雨天及び強風対策(台風時期)等を万全に行う必要があり、大会運営等に支障が出ないようにすること。バスケットボール競技では、競技会場の照明器具の改修が必要となる。
今後の対応	先催県(ぎふ国体)への視察や事業概要説明会等で抽出された課題及びリハーサル大会での課題を都競技団体及び関係機関と連携を図り、協議のうえ課題を整理するとともに、必要な改修工事を行い、平成25年に開催される本大会の円滑な運営を目指す。
長期計画	長期目標 平成25年度 第68回国民体育大会の実施 進捗状況 A 計画どおり ⑧ 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(4)文化財の保存と啓発活動の推進		<p>平成24年度教育施策 ①貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。</p>	
担当課	生涯学習課		
事業名	文化財センター維持管理事業		
事業内容	市指定史跡である旧浴恩館を保存公開するとともに、同建物を文化財センターとして活用し、郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示を行う。		
事業目標	郷土資料の展示や講座・講演会等を行い、市民及び地域社会の文化の向上に資する。		
24年度目標	入館者数4,200人		
事業の成果	入館者数4,098人		
課題	平成25年2月、同敷地内にある市指定史跡の空林荘が火災により焼失したことを受け、旧浴恩館及び施設内の文化財等を守るため、防犯・防火対策を強化する必要がある。		
今後の対応	平成25年度、文化財センターに防犯カメラ及びフェンスを設置する。今後は防火対策の強化も検討する。		
長期計画	長期目標	23～27年度：継続	
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	
評価	A		

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(4)文化財の保存と啓発活動の推進	平成24年度教育施策 ②市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編の刊行に向け、編さん活動の充実を図る。
-------------------	--

担当課	生涯学習課	
事業名	市史編さん活動	
事業内容	小金井市の歴史を学術的に振り返り、今後の市政の発展や、市民の郷土意識の向上のため、小金井市史資料編4冊及び通史編2冊を刊行する。	
事業目標	計画の見直しにより、新たな小金井市史編さん大綱に沿って活動を進め、市制施行60周年を迎える平成30年度の刊行を目指す。	
24年度目標	近代及び現代資料編の筆耕	
事業の成果	資料収集に予想以上に時間を要したこと、調査に携わる人材が不足したことから、当初目標の筆耕には至らなかったが、新たに3名の調査員を確保するとともに、進捗状況を加味して計画の見直しを行った。	
課題	膨大な資料を収集し、調査研究する必要がある、それをそれを成し得る人材の確保が必要。	
今後の対応	平成24年度以降、3名の調査員を増員することができた。今後、新たな計画に沿って活動を進めていく。	
長期計画	長期目標	25年度：近代資料編、26年度：現代資料編、 27年度：近世資料編、28年度：考古資料編、 29年度：通史編(上)、30年度：通史編(下)刊行
	進捗状況	A 計画どおり ⑥ 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	B	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(4)文化財の保存と啓発活動の推進		平成24年度教育施策 ③市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。	
担当課	生涯学習課		
事業名	古文書講座		
事業内容	古文書の専門家に講師を依頼し、小金井市文化財センターにおいて年3回講座を実施する。		
事業目標	初心者古文書読解の基礎知識の習得を支援するとともに、古文書調査に協力していただける人材の確保につなげる。		
24年度目標	受講者数60人		
事業の成果	受講者数90人		
課題	受講後、古文書に更に興味を持ち、自主活動グループへ参加する者もいる。そういった方を育成し、市史編さん等に協力していただく人材として育成する。		
今後の対応	古文書に興味のある方へ基礎知識の習得を支援するとともに、新たな人材確保へつなげるため、今後も継続して実施していく。		
長期計画	長期目標	23～27年度：継続	
	進捗状況	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	
評価	A		

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(4)文化財の保存と啓発活動の推進
 平成24年度教育施策
 ④史跡玉川上水、名勝小金井(サクラ)の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。

担当課	生涯学習課	
事業名	名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト	
事業内容	「玉川上水・小金井桜整備活用計画」(平成22年3月策定)に基づき、関係機関・市民と協働で史跡玉川上水及び名勝小金井(サクラ)のよりよい整備活用を図る。	
事業目標	ヤマザクラの生育環境を改善し名勝景観を復活させるとともに、景観整備の一環として、緑道(市が占有している通路部分)の改善と横断歩道橋から新たな人道橋への架け替えを行う。	
24年度目標	モデル区間整備の継続実施及び人道橋の整備計画書の作成。	
事業の成果	ヤマザクラの整備については、平成22年度に始めたモデル区間の整備が完了し、合計95本の後継樹が補植された。人道橋の整備については、専門家による委員会を設置し、都水道局及び文化庁の許可を得るための計画書を作成した。	
課題	ヤマザクラの整備については、モデル区間以外の整備に係る調整が必要。人道橋の整備については、史跡玉川上水の所有者である都水道局の承諾を得た上で、文化庁から現状変更の許可を受けなければならない。	
今後の対応	ヤマザクラ並木の整備については、都教育庁が主体となり、近隣市を含めた関係機関との協議を進めている。人道橋の整備については、文化庁の許可がおり次第、近隣住民へ説明の上、工事を進めていく。	
長期計画	長期目標	25年度：既設横断歩道橋撤去 26年度：人道橋架設 27年度：緑道整備 ※ヤマザクラの整備は継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(5)公民館の充実	<p>平成24年度教育施策</p> <p>①誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。</p> <p>③事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。</p> <p>④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。</p>
-----------	--

担当課	公民館	
事業名	青年国際交流講座 「生活日本語教室」	
事業内容	日本語の日常会話に不自由している市内在住及び近隣の外国人に対して、ボランティアスタッフが、毎週土曜日の午前中、市民生活に必要な日常会話の学習を支援している。	
事業目標	参加者の日本語の日常会話の技術向上と、参加者同士及びスタッフとのコミュニケーションの向上により、参加者の日本文化への理解を深めてもらう。	
24年度目標	参加者の日本語の日常会話の技術向上と、参加者同士及びスタッフとのコミュニケーションの向上により、参加者の日本文化への理解を深めてもらう。	
事業の成果	参加者の日本語の日常会話の技術向上が図られたと同時に、参加者同士及びスタッフとの交流が図られた。また、日本の年中行事を紹介することで、参加者の日本文化への理解が図られた。講座開催数：46回、延べ参加者数：999人、延べスタッフ数：955人	
課題	企画・運営等をボランティアスタッフに頼っている。開催曜日、時間が限定されているため、利用者が限られてしまう。	
今後の対応	より多くの外国人に学習機会を与えるためには、開催日時、方法等の変更について検討が必要。また、それに応じるためにはボランティアスタッフの待遇向上等検討が必要かと思われる。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(5)公民館の充実

平成24年度教育施策
 ①誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。
 ③事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。
 ④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。
 ⑤市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。

担当課	公民館	
事業名	ITサポート事業 「こがねいパソコン相談室」	
事業内容	ITボランティアの協力により、各公民館で毎週水曜・日曜日の午後1時～3時まで、予約なしで無料のパソコン相談を開催	
事業目標	市民個人々のパソコン操作に伴うスキルアップを支援し、パソコンに関する具体的な問題解決を援助することにより、市民のIT活用能力の向上を図る。	
24年度目標	上記の目標を達成するため、より多くの市民の方に周知し、利用していただく。なお、前年度の利用者が1,067人であったため、今年度は10%増の利用者目標を立て実施した。	
事業の成果	延べ相談者数 1,148人 上記のように、数多くの市民の相談に応えられ、パソコン操作のスキルアップなどが図られた。	
課題	年々相談内容が高度化しているので、ボランティアの更なる自主的な研鑽が必要とされる。	
今後の対応	より多くの市民に利用していただけるよう、今後においてもPR活動に努め、また、上記課題を解決するため、ITボランティア運営協議会と連絡を密に執っていく。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	B	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(5)公民館の充実	<p>平成24年度教育施策</p> <p>③事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。</p> <p>④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。</p>
-----------	--

担当課	公民館	
事業名	市民がつくる自主講座	
事業内容	公共性のある地域課題、生活課題について市民自身が講座を企画運営することの重要性が増している。市民自身の手による学習活動を支援し、地域の生涯学習活動の活性化に寄与する。	
事業目標	様々な課題についての講座開設に向けた支援を行うことにより、市民の自主的な学習意欲を喚起し、学習の場を保障するとともに、市民の学習の内容範囲を広げる。	
24年度目標	多くの団体の要望に応えるとともに幅広い内容の講座を実施し、併せて受講者の自主グループ化を目指す。	
事業の成果	11団体（個人）の要望に応えることができた。日本伝統芸能「尺八、箏」、「名勝小金井の英訳紙芝居」は今までにない講座で好評であった。	
課題	応募団体の増加に伴って、開催日数の調整が必要になってきている。選考の公平性と透明性を合わせ、出来るだけ申請を受け付けているが、申請数が増えた時は審査の適正が必要である。	
今後の対応	公平性を期すことが重要と考え、それぞれの申請について申請講座の上限設定（概ね3回）が必要と思われる。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続
	進捗状況	<p>Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている</p> <p> C 大きく遅れている</p>
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(5)公民館の充実		平成24年度教育施策 ④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。	
担当課	公民館	公民館	公民館
事業名	地域コミュニティ施設研究講座Ⅲ (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	高齢者の生きがいづくり講座 (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	
事業内容	昨年決定した地域コミュニティ施設事業の柱、若者コーナー、環境教育、情報発信、文化と芸術、健康づくり等について研究を行った。	バイオリンとピアノ公演、東日本大震災から学ぶもの、遺言と相続の話、声楽教室等、23回の講座を開催する。	
事業目標	(仮称) 貫井北町地域センターの施設のあり方と事業のあり方を研究する。研究を通して、地域住民の交流と親睦を図り地域力の向上を図る。	受講することにより、地域の高齢者が生きがいを持って人生を全うしていただけるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援する。	
24年度目標	各事業の柱について、どのような事業を盛り込むかの研究を行うとともに、市民協働のありかたを研究する。研究を通して親睦と交流を深め地域力の向上を図る。	地域の高齢者の居場所となり、健康、趣味、教養などの学習を深めるための持続的な自主グループを結成する。 延べ参加者数約650人(前年度延べ参加者数630人)	
事業の成果	研究を通して、参加者の交流と親睦が深まった。新公民館における事業の市民要望が把握出来た。市民協働についての理解が深まった。講座開催数：12回、延べ参加者数：156人	23回開催、延べ603人が参加した。昨年より減少したが、参加者は昨年より固定し、自主グループの形が出来てきた。	
課題	講座参加者の理解は深まったが、参加していない市民との理解のギャップが課題である。	自主グループとして地域の高齢者の居場所となるには、自立した運営が必要となる。仲間づくりとしてはほぼ完成しているが、運営力(事務能力等)については今一つ不安を抱えている。	
今後の対応	講座は今年度で終了するが、地元の参加者や今後、新公民館において活動を希望する方には、必要な呼びかけをしていく予定である。	運営力の不足を補完する態勢をつくること。そのためメンバーを補充し、参加者みんなで不足部分をカバーする必要がある。みんなで役割を分担し、より参加意識を高め、やりがいある自主的なグループ化を目指す。	
長期計画	長期目標	22～24年度：実施	22～24年度：実施
	進捗状況	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A		A

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(5)公民館 の充実	平成24年度教育施策 ④主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。
---------------	--

担当課	公民館	
事業名	団塊の世代地域デビュー講座 (多摩・島しょ地域力向上助成事業)	
事業内容	団塊の世代が定年後、地域で楽しみながら共通の趣味を持つ仲間と出会えるように、外国語のレッスンだけでなく、外国文化に触れるレクリエーションも行う。	
事業目標	初歩的なスペイン語の習得、スペイン語圏の文化の理解、そして仲間作り。	
24年度 目 標	初歩的なスペイン語の習得、スペイン語圏の文化の理解、そして仲間作り。	
事業の 成 果	スペイン語の習得には時間が足りなかったが、様々なレクリエーションを通じ仲間作りができた。講師の人脈にネイティブと触れ合う機会があり、国際交流にもなった。講座終了後に自主グループとなり、今も続いている。講座開催数：16回、延べ参加者数：295人	
課 題	全くの初心者を対象にしたかったのですが、はじめてのスペイン語というタイトルにしたが、経験者が多く、本当の初心者にとってはレベルの高い講座となってしまった。	
今後の 対 応	24年度をもって終了。今後は公民館としてできる限り自主グループをサポートしていく。	
長期 計画	長期 目標	22～24年度：実施
	進捗 状況	Ⓐ 計画どおり Ⓑ 少し遅れている Ⓒ 大きく遅れている
評 価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(6)図書館
の充実

平成24年度教育施策
①「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が利用できる図書館運営に努める。

担当課	図書館	
事業名	ハンディキャップサービス事業	
事業内容	小金井市立図書館処務規定第4条及び 小金井市立図書館ハンディキャップサー ビス実施要綱により、視覚障がいをお持ちの方等を対象とした図書を作成し、読 書の機会の拡充を図る。	
事業目標	視覚に障がいをお持ちの方等の利用が 増えるよう、利用しやすい環境を作り、 ボランティア団体と連携し利用者のニ ーズに合ったサービスを提供できるように する。	
24年度 目標	デージー図書作成 4 タイトル 点字図書作成 3 タイトル 録音図書作成 5 タイトル	
事業の 成果	デージー図書作成 (H23: 5タイトル→H24: 4タイ トル) 点字図書作成 (H23: 4タイトル→H24: 3タイ トル) 録音図書作成 (H23: 3タイトル→H24: 5タイ トル)	
課 題	デージー・点字・録音図書の作成は図 書の内容により容量が異なる為、タイト ル数での目標値設定が難しい。 対面朗読に関しては、利用者の要望で 行われるので予算上の措置が難しい。	
今後の 対応	講習会等を開催し、各方面のボラン ティアの育成に努め、広報等でより多 くの方に図書館利用ができようにな る。	
長期 計画	長期 目標	平成27年度：推進
	進捗 状況	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(6)図書館の充実	平成24年度教育施策 ②時代に即した図書館運営を推進するため、平成元年12月に策定(平成4年3月一部改正)された「小金井市立図書館運営方針」を改訂する。
-----------	---

担当課	図書館	
事業名	小金井市立図書館運営方針(改訂版)作成	
事業内容	図書館運営およびサービスに関する方針を定める。	
事業目標	小金井市立図書館運営方針の改訂版を作成することにより、より時代に則した利用者サービスを行う。	
24年度目標	策定から23年経過しているため、全面的に見直しを行い、年度内に改訂版を作成する。	
事業の成果	平成25年1月～2月にかけてパブリックコメントで意見募集を行った後、第3回図書館協議会で報告・意見集約をし、平成25年4月1日付けで小金井市立図書館運営方針(改訂版)を作成した。	
課題	図書館利用のニーズが多様化しているため、今後も必要に応じて適宜改訂を検討する。	
今後の対応	図書館評価にも繋げるようにして活用を進める。	
長期計画	長期目標	平成24年度：実施
	進捗状況	Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(6)図書館 の充実	平成24年度教育施策 ③平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センター図書館貫井北分室開設に向けて、本格的準備に着手する。
---------------	--

担当課	図書館	
事業名	(仮称)貫井北町地域センター図書館分室開設事業	
事業内容	(仮称)貫井北町地域センター図書館分室の平成26年4月に開館に向けて準備を行う。	
事業目標	(仮称)貫井北町地域センター図書館分室の開設準備のため、予め図書を購入装備するとともに、本館及び各分室から図書の移管作業を行う。	
24年度 目 標	新規図書の購入 17,000冊 移管する図書 10,000冊	
事業の 成 果	新規図書の購入 17,010冊 移管した図書 4,666冊	
課 題	図書館の新設という大きな事業であり、大幅な事務量の増加が見込まれた。そのため職員の増員を要求したがかなわなかったため、一部当初の目標を達成できなかった。	
今後の 対 応	平成25年度は引き続き図書の購入・移管を行うほか、開館に要する備品・消耗品の購入や図書の搬入・配架、各種事務手続き等更なる事務量の増加が見込まれるため、引き続き職員の増員を要求していく。	
長期 計 画	長期 目 標	平成24年度および平成25年度継続実施
	進捗 状況	A 計画どおり ⑤ 少し遅れている C 大きく遅れている
評 価	B	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(6)図書館の充実	平成24年度教育施策 ④子供の読書活動推進のため、引き続き読書環境の整備に努め、新たに「子どもと読書に関する講座」を開催し、市民の子供の読書に関する活動の育成・支援に努める。
-----------	--

担当課	図書館	
事業名	図書館児童サービス事業	
事業内容	児童に対する読書活動の推進を図るため、「おはなし会」を実施する。	
事業目標	より多くの児童に図書に親しんでもらい図書館を利用してもらえるようにする。	
24年度目標	延べ参加者数約1,100人 (23年度の延べ参加者数1,112人)	
事業の成果	おはなし会開催回数71回、延べ1,337人が参加した。	
課題	内容が慣例的になっており、参加人数が伸び悩む傾向にある。	
今後の対応	広く啓発活動を行い、従来の読み聞かせ以外の方法等を取り入れて実施する。	
長期計画	長期目標	23～27年度：推進
	進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている ② 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興		
(7)社会教育施設の整備	平成24年度教育施策 ②市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。	
担当課	生涯学習課	
事業名	総合体育館維持管理事業	
事業内容	総合体育館を、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として供するため、指定管理者制度を導入し、効率的・経済的に管理運営する。	
事業目標	個人・団体ともに利用しやすく、安全を確保するため、施設及び設備整備の充実を図る。	
24年度目標	大体育室利用者数60,000人 温水プール利用者数110,000人 調査報告書に基づく大規模改修（5か年計画）として、冷暖房設備の改修及び電灯・コンセント設備工事、弱電設備工事を行う。	
事業の成果	大体育室利用者数48,026人 温水プール利用者数116,321人 上記を含め、総合体育館の全利用者数は11,125人。計画どおり大規模改修を行い、利用者の安全の確保し、利便性を向上させた。	
課題	平成25年度、国体開催に向けた整備として照明設備の改修を行ったため、計画に基づく大規模改修が実施できなかった。	
今後の対応	平成26年度以降、計画に対し1年遅れで順次整備を進めていく。平成27年度には、次の整備へ向けた調査も実施予定である。	
長期計画	長期目標	23～27年度：継続（大規模改修） 27年度：次年度以降の改修内容調査
	進捗状況	A 計画どおり ⑨ 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(7)社会教育施設の整備	平成24年度教育施策 ③公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。	
担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ開放・学校開放	
事業内容	市内小中学校の体育施設や総合体育館及び栗山公園健康運動センターのプールを地域開放する。	
事業目標	体育施設を地域開放することで、市民のスポーツ活動の場を確保し、より多くの市民にスポーツの機会を提供する。	
24年度目標	スポーツ開放校参加者数3,000人 土曜スポーツクラブ参加者数600人	
事業の成果	スポーツ開放校参加者数3,420人 土曜スポーツクラブ参加者数477人 上記の他、一中クラブハウス11,125人、南中テニスコート70（登録者数）、プール無料開放2,064人の利用があった。	
課題	市内各学校においても地域住民のために夜間や休日の貸し出しを行っており、飽和状態にある。	
今後の対応	引き続き、学校との連携を図りつつ、施設の有効利用をしていきたい。	
長期目標	23～27年度：継続	
進捗状況	① 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている	
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(7)社会教育施設の整備	平成24年度教育施策 ③公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。	
担当課	図書館	
事業名	図書館維持管理業務	
事業内容	適切な施設の維持管理を図り、利用者に安全で快適な読書環境を提供する。	
事業目標	修繕計画に基づき、利用者に安全で快適な読書環境を提供する。	
24年度目標	昭和50年開館の図書館本館は老朽化のため、各所の修繕が必要なため、早急に修繕が必要な個所から修繕するほか、図書館本館の耐震診断を行い安全で快適な図書館運営に努める。	
事業の成果	【平成24年度に行った主な施設修繕等】 ・事務室床修繕 ・戸先鎌錠修繕 ・冷媒配管ダクト修繕 ・図書館耐震診断実施	
課題	図書館耐震診断を実施した結果、耐震性能は確保されている結果となったが、建物各所において老朽化に伴い剝離・鱗割れ等が判明したため、今後は利用者等の安全を確保する為、必要個所の改修を行う。	
今後の対応	耐震診断による図書館建物調査報告を基に、緊急性のある箇所から順次改修工事を行う。	
長期計画	長期目標	平成26年度一部実施後平成27年度実施
	進捗状況	A 計画どおり B 少し遅れている C 大きく遅れている
評価	A	

点検及び評価シート

基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(7)社会教育施設の整備	<p>平成24年度教育施策</p> <p>①市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。</p> <p>④平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センターについて、平成23年度の実施設設計に引き続き、今年度は建設工事に着手する。</p>
--------------	--

担当課	公民館	公民館	
事業名	公民館維持管理事業	(仮称)貫井北町地域センター建設事業	
事業内容	施設の整備を図り、利用者への利便に供する。	市内に市民の意見を反映させた新たな施設の設計、建設を実施し、利用者への利便に供する。	
事業目標	社会教育事業遂行の条件を整備するとともに、公民館5館の安全、安心、快適な施設を維持管理する。	市民検討委員会の意見を反映させた新たな施設建設を実施し、平成26年度の開館を目指す。	
24年度目標	本町分館冷暖房設備改修工事、都営住宅外壁補修等工事計画に基づく併設館である本町分館の外壁補修工事の他、緑分館学習室BC壁等修繕、レクリエーション室壁面修繕他、6件の修繕を実施する。	市民検討委員会により完成した実施設計(概要版)を市民に公表。建築確認申請を得て、建築工事に着工する	
事業の成果	上記工事、修繕の他、東分館図書室扉及び入口自動ドア修繕、緑分館陶芸室、自動ドア、排水管等各館施設の不良箇所等、12件の修繕を実施した。	実施設計(概要版)が完成し、市民に公表。建築確認申請の許可を得て、予定どおり工事に着工することができた。	
課題	公民館本館は昭和43年建設の福祉会館内施設、最新の緑センターも平成3年開設であり、公民館5館を安全、安心、快適な施設として維持し続けていくためには一定の予算措置が必要である。老朽化が著しく、応急処置の際の交換部品の調達すら困難と思われる本町分館トイレの改修工事については早期実現が望まれる。	建築工事をすすめる一方で、新しい施設の運営形態について、公民館運営審議会に諮問を行い(平成24年9月)、市民協働の視点にたった運営方法を検討する。	
今後の対応	限られた財源の中で、年次計画をもって対応していく必要がある。	平成26年4月開館に向けて、必要な設備を整えるとともに、公民館運営審議会からの答申(平成25年7月提出)を尊重し、運営形態についても、市民協働の観点からの運営方法の導入により、更なる市民サービスの向上につながる施設を提供する。	
長期計画	長期目標	23~27年度：継続	22~25年度：実施
	進捗状況	<p>Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている</p> <p>Ⓒ 大きく遅れている</p>	<p>Ⓐ 計画どおり B 少し遅れている</p> <p>Ⓒ 大きく遅れている</p>
評価	A	A	

平成25年度点検・評価に関する有識者の意見

小金井市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項及び小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、平成25年度（平成24年度評価分）における小金井市教育委員会の点検及び評価を実施するに当たり、有識者から御意見をいただきました。

小金井市教育委員会活動の自己点検・評価に関する意見

朝岡 幸彦（東京農工大学大学院 農学研究院 教授）

年々、評価方法等が工夫されていること（事業一覧における評価対象事業の位置づけの明示、「S」「A」評価の基準の明確化など）を高く評価できる。そのうえで評価方法に関して、さらに幾つかの改善が求められる。

- (1) 根拠となる計画（明日の小金井教育プラン、第2次小金井市生涯学習推進計画）における事業の「優先順位」と対象事業との関係が明示される必要がある。また、事業目標に対する全体の進捗状況も明示されたい。
- (2) 「事業目標」—「年度目標」—「成果」の関係性を再整理したうえで「評価」がなされ、記述の仕方も統一される必要がある。例えば、「事業目標」に対する「年度目標」の位置づけをP-D-C-Aサイクルの各段階に対応した表記にすることも検討されたい。
- (3) とりわけ「年度目標」と「成果」の（だれが読んでも理解できる）具体的な表現にする努力が必要であり、「充実を図る」「深める」「検討する」などの曖昧な表現をさけるようにされたい。また、数値目標を含む具体的な表記がある場合には、「概ね」のような曖昧な「評価」を避け、作成・配布・実施・数値達成などの検証可能な場合について（根拠となる資料をつけて）のみ「A」評価とすべきであろう。
- (4) 簡潔な表現を旨としつつも、評価表の枠の大きさにこだわらず、「事業内容」「課題」「今後の対応」などの詳細な記述が必要な場合には、柔軟に対応されたい。

さらに「生涯学習編」に即して具体的に、以下の2点を指摘したい。

- (1) 年度の数値目標が明示されているものが多いものの、「事業目標」と「年度目標」のギャップが見られ、何を根拠に数値目標が出されているのかが不明瞭に思われる。
- (2) とりわけ「公民館」関連の事業において、「事業目標」「年度目標」「成果」の記述が曖昧もしくは客観的な評価がむずかしいものが見られる。また、評価対象事業として国及び都の助成事業が相応しいものといえるのか、検討されたい。

藤井 穂高（筑波大学 人間系教授）

教育委員会が、その権限に属する事務の実施状況につき、点検・評価を行い、かつ、それを公表することは、信頼される教育行政を推進する上で重要な意義を有する。小金井市においてもこの取組が6年目を迎えたことは、制度として定着してきたことの表れであるといえる。

平成25年度の点検・評価の対象となる69の事業について、A評価（概ね達成している）が全体の9割を占めていることは、行政の安定的な実施の観点から、まずは評価されるべき点である。

事業の構成やその内容をみると、学校教育については、子どもの学習に関する実態把握、授業力向上研修会の実施、補習授業等の充実等による「わかる・できる・活かす授業」の充実、教育副読本の配布や家庭・地域と連携による道德教育の推進、体力調査の実施や食育の推進による体力の向上など、学校教育の基本となる知・徳・体のバランスに適切に配慮した事業が行われている。

特に、特別支援教室の充実やスクールソーシャルワーカーの派遣などの事業は、教育委員会にしかできないことであり、かつ、学校教育の推進の重要な条件であることから、この面での事業の充実は高く評価できる。

また、生涯学習では、家庭教育学級から団塊の世代のための地域参加講座まで幅広い事業を含む生涯学習の推進、スポーツ祭東京2013開催準備も加えたスポーツ・レクリエーション活動の充実、文化財の保存と啓発活動、社会教育施設、公民館や図書館の充実と、こちらも総合的な事業が展開されている。特に、図書館分室の開設や史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用などは、やはり教育委員会にしかでき

ない事業であるから、今後ともこうした生涯学習の条件整備に向けた積極的な取り組みに期待したい。

なお、点検・評価の形式にかかわることであるが、「点検及び評価シート」書きぶりが担当課により様々であるため、通覧するとまとまりが感じられない。事業の目標や内容により、書く中身が異なることはもちろんあるとは思いますが、各項目において書くべき事項について、もう少し教育委員会として粒をそろえるよう工夫を望みたい。

木村 洋子（元小金井市立前原小学校長）

平成24年度は、「明日の小金井教育プラン」を対象とした点検及び評価の2年目ということで、昨年度の結果をもとに評価の基準を見直し、達成の状況が明確になった。評価の結果は、「学校教育」は、長期計画の中で多くの事業が実施や検討の時期ということでもあり、ほとんどの事業が目標を概ね達成できたという結果であった。また、「生涯学習」については、本年度も8割以上が目標を概ね達成できたという結果であり、教育委員会の重点施策に対する推進の状況は高く評価できる。

多くの事業を長期計画に基づいて推進するのは苦勞も多いことと思われる。評価事業の中には、最終的な評定と目標、成果、課題と対応の関係が分かりにくいものがあった。それらの事業をよりよく推進するための指標として、点検及び評価が有効に機能するように、次の点についての改善を期待したい。

- ① 事業目標が最終目標であり、各年度の目標がその目標を達成するための短期の目標となるので、できる限り数値や具体的な内容で示す。
- ② 事業の成果は、事業目標に対して当該年度はどのような状況にあるのかが分かるように記述する。
- ③ 課題と今後の対応が、次年度の事業につながるような記述になるよう配慮することが必要である。特に、検討するとか、充実するという対応であるなら、その内容を示したい。
- ④ 事業として継続しているものについては、同じように継続するだけでなく、その内容を常に見直し、さらに高めていけるよう工夫したい。

平成24年度教育委員会運営状況

1 会議

定例会教育委員会	12回
臨時教育委員会	5回

2 委員

委員名	任期	備考
伊藤 恒子	自 22. 4. 1 至 26. 3. 31	委員長 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
鮎川 志津子	自 24. 12. 1 至 28. 11. 30	職務代理者 平成24年12月5日指定
高木 裕	自 21. 7. 11 至 25. 7. 10	
宮本 誠	自 22. 4. 1 至 26. 3. 31	
津幡 道夫	自 24. 4. 1 至 27. 9. 30	教育長 平成24年4月1日任命

3 定例会・臨時会の審議事項

会議名 年月日	審 議 事 項	
第 3 回 臨 時 会 24. 4. 1	選 第 1 号 議案第 17 号 協 議 第 1 号	小金井市教育委員会委員長の選挙について 小金井市教育委員会教育長の任命について 小金井市教育委員会の議席について
第 4 回 定 例 会 24. 4. 10	報 告 事 項	1 平成24年度学級編制について 2 寄附の収受について 3 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 4 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について 5 平成24年度研究奨励校等について 6 平成24年度教育委員会の主な事業について 7 その他 8 今後の日程
第 4 回 臨 時 会 24. 4. 27	代処第 25 号 代処第 26 号 代処第 27 号 代処第 28 号 代処第 29 号 代処第 30 号	非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について

	議案第18号 議案第19号	小金井市教育委員会職員の行政処分について 人事異動について
第5回 定例会 24.5.8	議案第20号 議案第21号 議案第22号 報告事項	小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 小金井市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程 小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程 1 小金井市奨学資金の応募状況について 2 小学校オーケストラ鑑賞教室について 3 第2次小金井市子ども読書活動推進計画の進捗状況について 4 その他 5 今後の日程
第6回 定例会 24.5.22	議案第23号 議案第24号 議案第25号 報告事項	教育委員会事業場安全衛生委員会委員の任命について 小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼について 小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例施行規則の一部を改正する規則 1 中学校合唱鑑賞教室について 2 海の移動教室について 3 竜巻注意報への対応について 4 その他 5 今後の日程
第7回 定例会 24.7.10	議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 報告事項 代処第31号 代処第32号 代処第33号 代処第34号 代処第35号	職員の兼業許可について 教育長の兼業許可について 小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 小金井市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについて 1 平成24年第2回小金井市議会定例会について 2 小学校給食調理業務の新たな経営方針について 3 東京都の学校給食用食材の放射性物質検査結果について 4 通学路における緊急合同点検について 5 小中学校の特定規模電気事業者からの電力の購入について 6 平成24年度小金井市立小・中学校特色ある取組について 7 スポーツ祭東京2013について 8 (仮称) 貫井北町地域センター建設に係る進捗状況について 9 その他 10 今後の日程 職員の分限処分に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について

	代処第36号 代処第37号 代処第38号 議案第31号 議案第32号 議案第33号	非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職について 非常勤嘱託職員の退職について 非常勤嘱託職員の採用について
第8回 定例会 24.8.14	議案第34号 議案第35号 議案第36号 報告事項 代処第39号 代処第40号 代処第41号 代処第42号 代処第43号 議案第37号 議案第38号	小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼 もくせい教室設置規程の一部を改正する規程 平成25年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書 の採択について 1 今後の日程 2 その他 職員の普通退職に関する代理処理について 職員の人事異動に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 職員の退職届の撤回願いに関する代理処理について 職員の人事異動に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の労働条件の変更について 非常勤嘱託職員の退職について
第5回 臨時会 24.8.21	代処第44号 議案第39号	非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 職員の退職について
第9回 定例会 24.8.28	議案第40号 報告事項 代処第45号 代処第46号 議案第41号 議案第42号 議案第43号 議案第44号	平成24年度小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価について 1 小学校第6学年の林間学校について 2 中学校部活動全国大会について 3 名勝小金井(サクラ)復活事業についてのアンケート調査結 果について 4 今後の日程 5 その他 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職について 職員の懲戒処分について 職員の人事上の措置について 職員の分限処分について
第6回 臨時会 24.9.14	議案第45号 代処第47号	いじめのないまち小金井宣言の制定依頼について 職員の人事異動に関する代理処理について

<p>第 1 0 回 定 例 会 24.10.9</p>	<p>議案第 4 6 号 議案第 4 7 号 議案第 4 8 号 議案第 4 9 号 議案第 5 0 号 報 告 事 項 代処第 4 8 号 代処第 4 9 号 代処第 5 0 号 代処第 5 1 号 代処第 5 2 号 議案第 5 1 号 議案第 5 2 号</p>	<p>小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則 小金井市教育委員会事務専決規則 小金井市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程 安全衛生推進者の選任について 小金井市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 1 平成 2 4 年第 3 回小金井市議会定例会について 2 小金井市学校給食の指針（案）について 3 平成 2 4 年度東京都功労者表彰（福祉・医療・衛生功労）について 4 いじめのないまち 小金井宣言について 5 不登校児童・生徒の人数調べについて 6 玉川上水・小金井市桜整備活用実施計画の策定について 7 今後の日程 8 その他 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について 職員の人事異動に関する代理処理について 非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について 職員の分限処分について 職員の退職について</p>
<p>第 1 1 回 定 例 会 24.11.13</p>	<p>協 議 第 2 号 報 告 事 項</p>	<p>教育に関する事務に係る予算に対する意見について 1 平成 2 5 年度新入学児童・生徒について 2 結核対策委員会の結果について 3 小金井市立図書館運営方針改訂版（案）について 4 今後の日程 5 その他</p>
<p>第 1 2 回 定 例 会 24.11.27</p>	<p>議案第 5 3 号 報 告 事 項 議案第 5 4 号</p>	<p>小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについて 1 平成 2 4 年度小金井市立小・中学校読書感想文コンクールの表彰結果について 2 その他 職員の分限処分について</p>
<p>第 7 回 臨 時 会 24.12.5</p>	<p>選 第 2 号 協 議 第 3 号</p>	<p>委員長職務代理者の指定について 教育委員会の議席について</p>
<p>第 1 回 定 例 会 25.1.8</p>	<p>代 処 第 1 号 議 案 第 1 号</p>	<p>小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程の代理処理について 小金井市教育委員会の基本方針及び平成 2 5 年度教育施策（基本方針 1 から基本方針 3 まで）について</p>

	報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成24年第4回小金井市議会定例会について 2 中学校給食調理業務等委託事業者募集について 3 小金井市小学生マラソン大会及び小金井市中学生「東京駅伝」大会予選会の結果について 4 その他 5 今後の日程
	代処第2号	職員の分限処分に関する代理処理について
第2回 定例会 25.2.12	議案第2号	小金井市教育委員会の基本方針及び平成25年度教育施策（基本方針4）について
	議案第3号	平成25年度特別支援学級使用教科用図書について
	協議第1号	中学校特別支援学級の名称について
	報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市学校給食の指針について 2 小金井市教育委員会児童・生徒表彰等について 3 小金井市立小・中学校連合作品展について 4 平成24年度東京都教育委員会職員表彰について 5 第25回多摩郷土誌フェアについて 6 第9回野川駅伝について 7 スポーツ祭東京2013について 8 図書館の特別休館について 9 その他 10 今後の日程
	議案第4号	平成25年4月1日付け校長・副校長の人事異動に関する内申について
第3回 定例会 25.3.28	議案第5号	小金井市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程
	議案第6号	小金井市公立学校職員処務規程の一部を改正する規程
	議案第7号	学校医の委嘱について
	議案第8号	小金井市教育委員会児童・生徒表彰規程の一部を改正する規程
	協議第2号	中学校特別支援学級の名称について
	報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成25年第1回小金井市議会定例会について 2 前原小学校運動場芝生化の完了について 3 あかね学童保育所の建替えについて 4 中学校給食調理業務等委託業者の選定結果について 5 平成24年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果概要について 6 第4回中学生「東京駅伝」大会について 7 空林荘の火災について 8 その他 9 今後の日程 10 平成25年度小金井市立学校長・副校長等の人事異動について
	代処第3号	職員の分限処分に関する代理処理について

	代 処 第 4 号	職員の併任に関する代理処理について
	議 案 第 9 号	職員の分限処分について
	議 案 第 10 号	人事異動について

u . . . P

平成24年度小金井市教育委員会委員研修状況

会 議 名	日 時
関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会（埼玉大会） 研修会 記念講演「加来 耕三の歴史よもやま話」	5月18日
東京都市町村女性教育委員研修会 武蔵野市教育委員会の取り組み紹介及び施設見学・意見交換	6月26日
東京都市教育長会研修会 講演「義務教育期間中に何を教えるのか」	7月26日
東京都市町村教育委員会連合会 平成24年度第1回理事研修会 【対象：委員長】 講演「これからの時代に求められる授業」	8月23日
東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修（日帰り） 静岡県沼津市教育委員会（沼津市立静浦小学校、 沼津市立沼津高等学校・中等部）視察	10月12日
東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会 講演「私の出会った恩師がた～教育において最も大切なこと～」	10月23日
東京都市町村教育委員会連合会 平成24年度第2回理事研修会 【対象：委員長】 講演「教育行政の現状と課題」	1月10日
東京都市町村教育委員会連合会 平成24年度研修会 講演「発達障害の正しい理解から支援～」	2月5日

平成24年度 規則等の制定、改廃状況

番号	名称	議決・代理 処理年月日	公布年月日	規則 規程 の別	備考
1	小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H24.5.8	H24.5.10	規則	一部 改正
2	小金井市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程	H24.5.8	H24.5.10	規程	一部 改正
3	小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程	H24.5.8	H24.5.10	規程	一部 改正
4	小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例施行規則の一部を改正する規則	H24.5.22	H24.5.24	規則	一部 改正
5	小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H24.7.10	H24.7.13	規則	一部 改正
6	小金井市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	H24.7.10	H24.7.13	規則	一部 改正
7	もくせい教室設置規程の一部を改正する規程	H24.8.14	H24.8.15	規程	一部 改正
8	小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則	H24.10.9	H24.10.12	規則	一部 改正
9	小金井市教育委員会事務専決規則	H24.10.9	H24.10.12	規則	制定
10	小金井市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程	H24.10.9	H24.10.12	規程	一部 改正
11	小金井市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則	H24.10.9	H24.10.12	規則	一部 改正
12	小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程	H24.12.25	H24.12.28	規程	一部 改正

平成24年度 教育委員会人事発令状況

(単位：人)

	教育長	部長職	課長職	課長補佐職	係長職	主任職	(主事職) 一般事務	(主事職) 栄養士	(主事職) 給食調理	(主事職) 一般用務	計
H25. 3. 31 現在の職員	1	2	6	2	22	36	20	10	10	6	115
配置換	0	0	0	1	0	6	0	2	3	1	13
転任	0	0	2	0	2	4	7	0	0	0	15
(身分移管)・転任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(採用)・転任	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
転任・昇任・昇格	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
転任・昇任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転任・任用換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出向	0	0	1	0	6	0	6	0	0	0	13
兼職	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	6
兼職解除	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
併任	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
併任解除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昇任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昇任・昇格	0	0	0	0	6	4	0	0	0	0	10
降任・降格	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
任用換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職	0	1	2	0	1	1	0	0	0	1	6

平成24年度 小金井市立小・中学校学校行事・連合行事等日程表

番号	行事等	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	本町小	緑小	南小	一中	二中	東中	緑中	南中	
1	海の移動教室(小5年)	5/30(水) ↓ 6/1(金)	6/4(月) ↓ 6/6(水)	6/6(水) ↓ 6/8(金)	6/11(月) ↓ 6/13(水)	5/14(月) ↓ 5/16(水)	5/16(水) ↓ 5/18(金)	5/21(月) ↓ 5/23(水)	5/23(水) ↓ 5/25(金)	5/28(月) ↓ 5/30(水)						
2	林間学校(小6年)	8/6(月) ↓ 8/9(木)	8/9(木) ↓ 8/12(日)	8/17(金) ↓ 8/20(月)	8/20(月) ↓ 8/23(木)	7/22(日) ↓ 7/25(水)	7/25(水) ↓ 7/28(土)	7/28(土) ↓ 7/31(火)	7/31(火) ↓ 8/3(金)	8/3(金) ↓ 8/6(月)						
3	山の移動教室(中2年)										9/11(火) ↓ 9/13(木)	6/28(木) ↓ 6/30(土)	7/5(木) ↓ 7/7(土)	9/13(木) ↓ 9/15(土)	7/3(火) ↓ 7/5(木)	
4	修学旅行(中3年)										9/28(金) ↓ 9/30(日)	9/12(水) ↓ 9/14(金)	10/9(火) ↓ 10/11(木)	9/7(金) ↓ 9/9(日)	9/29(土) ↓ 10/1(月)	
5	特別支援学級移動教室	梅の実6/14(木)～6/15(金)・さくら10/10(水)～11(木)・ひまわり10/31(水)～11/1(木)									6組 5/16(水)～18(金)					
6	小学校オーケストラ鑑賞教室	4/23(月) (武蔵野市民文化会館)														
7	中学校合唱鑑賞教室											5/11(金) (武蔵野市民文化会館)				
8	連合音楽会	10/26(金) (小金井市民交流センター)														
9	連合作品展	1/25(金)～1/29(火)(小金井市民交流センター)														
10	始業式・入学式	始業式・入学式4/6(金)										始業式4/6(金) 入学式4/9(月)				
11	修了式	修了式3/22(金)										修了式3/25(月)				4月2日(金)
12	卒業式	卒業式3/25(月)										卒業式3/19(火)				
13	周年行事														11/2(金)	
14	研究発表会				1/23(水)			2/8(金)								
15	体育的行事	運動会 9/29(土)	運動会 5/26(土)	運動会 9/29(土)	運動会 9/29(土)	運動会 9/29(土)	運動会 10/6(土)	運動会 9/29(土)	運動会 10/6(土)	運動会 9/29(土)	運動会 6/2(土)	運動会 6/2(土)	運動会 6/2(土)	体育会 6/2(土)	体育祭 6/2(土)	
16	文化的行事	学習発表会 11/16(金) ↓ 11/17(土)	音楽会 11/16(金) ↓ 11/17(土)	展覧会 11/9(金) ↓ 11/10(土)	学習発表会 11/16(金) ↓ 11/17(土)	音楽会 11/16(金) ↓ 11/17(土)	けやき祭 11/16(金) ↓ 11/17(土)	展覧会 11/16(金) ↓ 11/17(土)	みどり展 11/16(金) ↓ 11/17(土)	学習発表会 11/30(金) ↓ 12/1(土)	ふじがね祭 10/31(水)	音楽祭 10/22(月)	舞台発表会 10/27(土) 作品発表展示会 11/10日(土)	文化発表会 10/15(月)	合唱コンクール 10/24(水)	

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価
の実施に関する要綱

平成20年10月28日制定

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、小金井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ることを目的とする。

(実施方法)

第2条 点検及び評価は、小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）を対象とする。

- 2 点検及び評価は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年度1回実施する。
- 3 教育委員会は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況等を取りまとめ、次条の点検及び評価に関する有識者の意見を聴取した上で、点検及び評価を行うものとする。

(点検及び評価に関する有識者)

第3条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置く。

- 2 有識者の定数は、3人以内とする。
- 3 有識者は、教育に関して学識を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。
- 4 有識者の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 5 有識者に欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議会報告及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価に関する報告書を作成して小金井市議会へ提出するとともに、公表するものとする。

(庶務)

第5条 点検及び評価の実施に関する庶務は、学校教育部庶務課において行う。

付 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成20年10月28日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成20年度に実施する点検及び評価に限り、第2条第1項中「小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）」とあるのは、「小金井市教育委員会の基本方針に基づく学校教育の指導目標、社会教育の目標」とする。

小金井市教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

平成25年8月発行

編集・発行 小金井市教育委員会

小金井市教育委員会事務局

小金井市前原町三丁目41番15号

☎ 042-387-9872